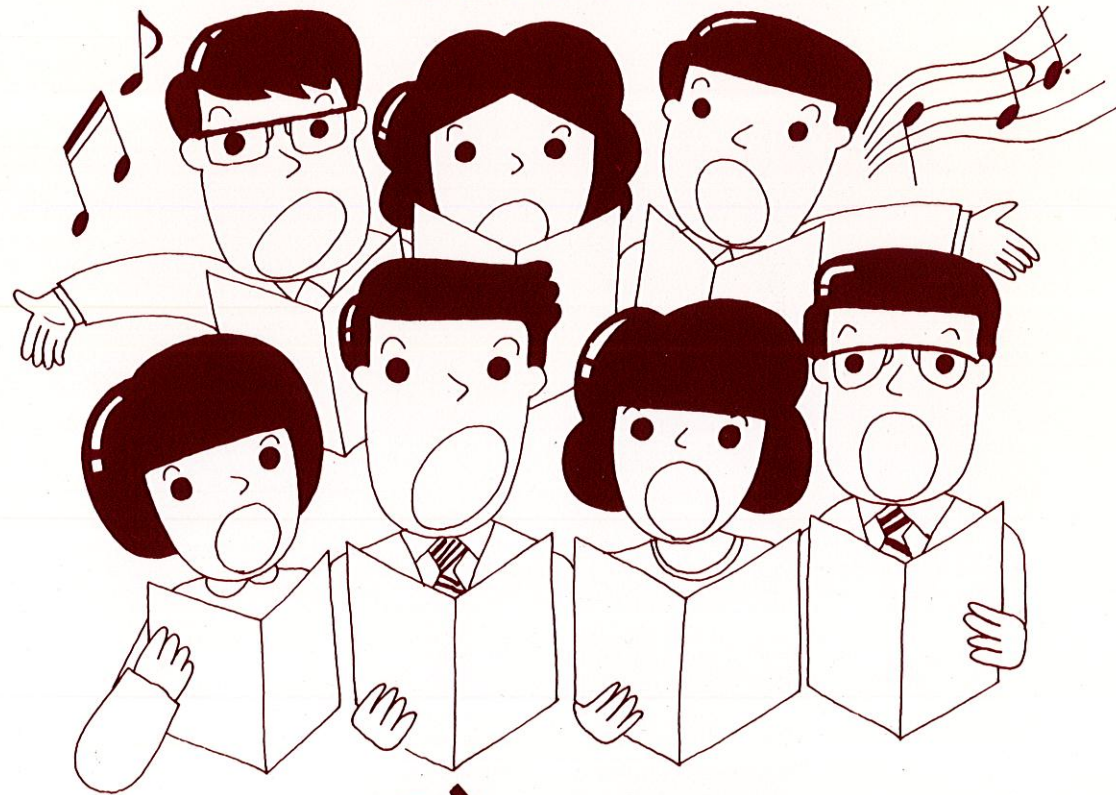


# 心のハーモニー

大切にしていますか。

歌うひとのよろこびが  
聞くひとの心の奥底にまで  
ひびくのは  
おたがいの心の交流が  
歌声を通して、よりたしかなものに  
なるからです。

私たち「中信」も、そんな  
“ハーモニーのあるおつきあい”を大切に  
みなさまのくらしの中に、しあわせの歌声を  
広めてゆきたいと思います。



# Glee Club

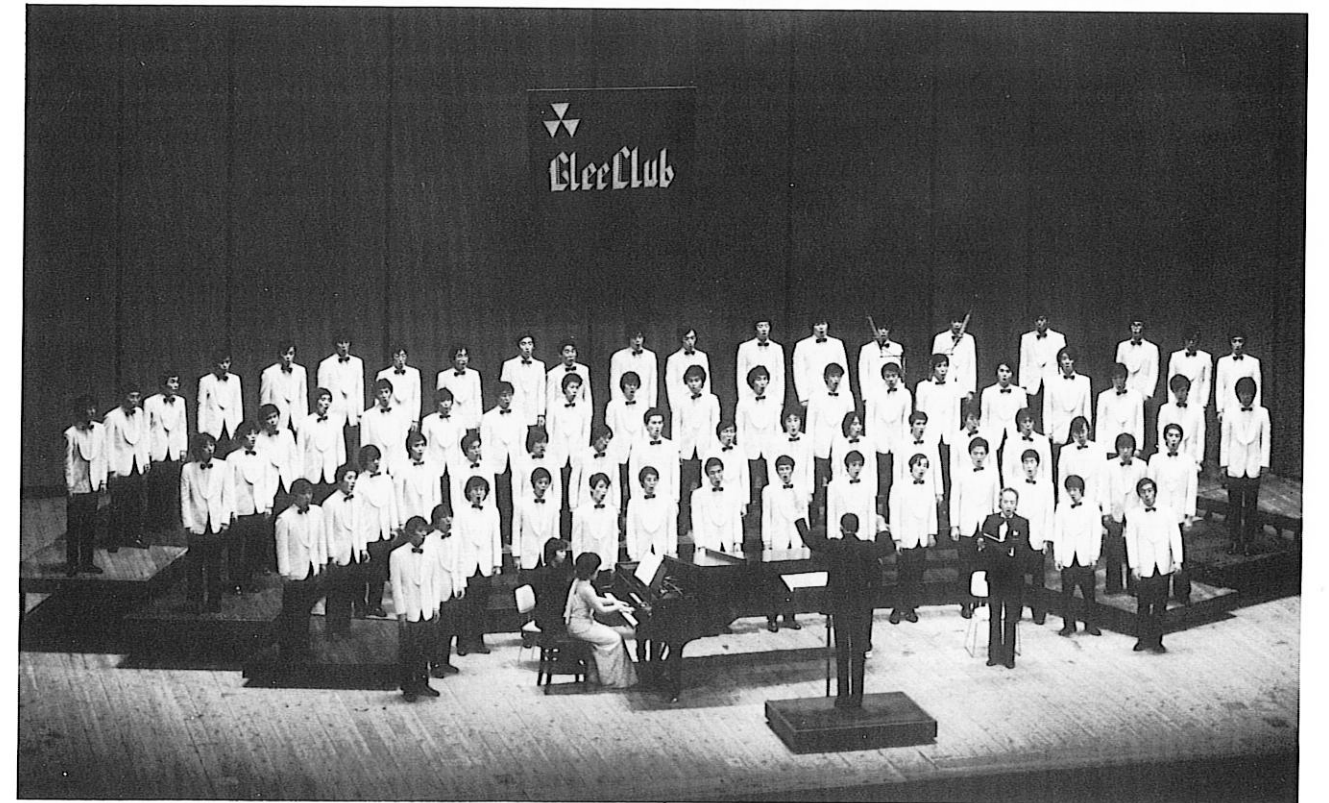
THE 75TH ANNUAL CONCERT





# 同志社グリークラブ第75回定期演奏会

1980年1月8日(火) 京都会館第1ホール



## 御挨拶

今宵はお忙しいなかを私達同志社グリークラブ第75回定期演奏会にお越し下さいましてありがとうございます。

同志社グリークラブは、本年度創立75周年を迎えました。私達20歳前後の若者にとって、その歴史の重さを肌で感じることは不可能であるかのように思われます。しかし、西洋音楽が国民から遠い存在であった時代にグリーが生まれ、激動の現代史の渦中であって絶えることなくその生命を脈々と伝えてきたことを想う時、合唱音楽を愛した数百名の人間の強固な意志にうたれるのです。

私達は、そうした諸先輩が築き上げられた伝統の上に立って新しい歩みを起こしました。現在の私達は、学生合唱団としては大変に恵まれた環境にありますが、一個の組織体の宿命として内的にも外的にも様々の問題を抱えております。私達のこの一年の歩みが、平坦なものであろうはずはありませんでした。

ただ私達は、そのような困難な状況にあっても活動の一つ一つが自己と無関係に過ぎ去ってしまうことのないよう、日々の練習に新しい発見と新鮮な感動を求め、音楽に対して真摯であろうとしてまいりました。そして、それを成し得たことが、開演のベルを待つ60数名のグリーメンの大きな自信であり、誇りなのです。

私達の求めてきた音楽が、皆様との間に、尽きることのない感動を生むことができましたなら、私達にとりましてこれにまさる喜びはございません。

最後になりましたが、今宵の演奏会を催すにあたり、多大なる御支援、御協力を賜りました諸先生、諸先輩、合唱連盟、ならびに関係各位の皆様方に厚く御礼申し上げますと共に、今後ともより一層の御指導、御鞭撻の程賜りますようお願い申し上げます。

同志社グリークラブ

## Doshisha College Song

One purpose Doshisha, thy name  
Doth signify one lofty aim.  
To train thy sons in heart and hand  
To live for God and Native Land.  
Dear Alma Mater sons of thine  
Shall be as branches to the vine.  
Tho' through the world we wander far  
and wide.

Still in our hearts thy precepts shall abide.

Still broader than our land of birth  
We've learned the oneness of our Earth  
Still higher than self-love we find  
The love and service of mankind  
Dear Alma Mater sons of thine  
Would strive to live the life divine.  
That we may with increasing years have stood  
For God, for Doshisha and Brotherhood.

同志社総長

## 上野直蔵

1980年の年頭を飾って、今宵、同志社グリークラブの第75回定期演奏会が多数の皆様のご来聴を得て、賑々しく開催されますことを心からよろこばしく存じます。

同志社には学生諸君が自らの趣味を通じて情緒感覚をみがくため地道に精進している多くの音楽団体がありますが、グリークラブはそれらの中でも75年の輝かしい歴史を有し、男声合唱団としてその合唱のすばらしさは抜きでたものがあり、幅広い活動を続けております。特に昨年の夏期休暇中にはクラブ創立75周年を記念して、学園内外の多くの方々のご援助を得て同志社グリークラブ友好訪中団を組織し、大学合唱団としては戦後初の中国演奏旅行を大成裡に終えました。中国各地では正式演奏会をはじめ人民公社などでの友好演奏、駅や広場での合唱等三十数回の演奏会を催して得意のハーモニーを披露し、中国の人々からそのすばらしい合唱に対し最高の評価をうけ、またグリーメンの学生らしい明朗さ、規律正しさに多くの賛辞が与えられました。この訪中演奏旅行では、会場も割れんばかりに「我愛北京天安門」を満員の聴衆とともに友好の大合唱をくりひろげ、音楽を通じて日中両国の文化交流に大きく貢献いたしました。

今宵は合唱音楽をひたむきに愛し、この道に精進してまいりましたグリーメンが、胸ふくらまし、大きな感動にあふれ、光を顔にたたえて、日頃の練磨の成果を心ゆくまで歌いまくって、皆様方の心に長く、深く残る合唱を披露してくれるものと信じております。

どうかご来場の皆様方におかれましては、心耳を傾けられ、胸底奥深くおうけとめ頂きましてご批判を賜わり、暖かいご鞭撻を下さいますようお願い申し上げます。

同志社グリークラブ顧問

## 遠藤 彰

去年夏の訪中演奏旅行は、われわれグリークラブの創立75周年記念の事業として行なわれた。上海・南京・西安・天津・北京での演奏会や交歓会はいろんな意味で大きな成功を収めたが、中国側のわれわれの紹介の言葉に必ず「この合唱団は75年の歴史を持っている。」という句があった。歴史を重んじる国では、一つのことを何代もかかってコツコツと築きあげることだけでは意味があるということを感じた。

同志社グリークラブは、片桐哲先生（現名誉顧問）を初代指揮者として発足して以来、日本の学生合唱の世界に4分の3世紀にわたって揺ぎない地位を築いてきた。グリークラブの音楽技術は、今やずい分高度な領域に達している。中国での音楽専門家の評価は、どこでも最高の言葉によって飾られていた。しかし、人間の技術の進展を促し、これを有用ならしめるものは精神である。どういう精神が高度な技術を生み出し、またそれをどのように人間の文化の向上に用いるか。この点はあらゆる種類の技術の練磨を志す者が、常に心せねばならぬところであろう。同志社グリークラブの歴史を支えてきた者の中には、祖父・父・子と3代にわたる部員がいる。キリスト教精神をもって「心と手」を磨く“One Purpose”を、歌い続けてきたこの精神的伝統こそが、現在のグリークラブのすべてを支え、かつその創造的前進の原動力を提供していると信じる。

この第75回の記念すべき定期演奏会にあたり、片桐哲先生をはじめ、代々の先輩たち、そして技術的、精神的指導面で直接御指導を頂いた諸先生に心からの感謝を捧げたい。今宵の演奏がこのような意味で、グリークラブ75年の歴史の重みと将来への新しい決意を表すものでありうるように祈ってやまない。

京都府合唱連盟理事長

## 吉村信良

第75回定期演奏会おめでとうございます。「天下の同志社グリーが全国の合唱人におおくりする名曲のかずかずを……」

まさにそんな感じがピッタリの今日のステージですね。グノーの「第二ミサ」にしても「島よ」にしても、「日曜日」にしても誰でも知っている名曲、それを男声合唱でやるのですから、ここからたのしみをしている人も多い一方、いじわるくあらさがしをやるという冷酷なお客さまがいることもたしかです。だから同志社グリーの演奏会は文字通りインタレスティングなのです。

昨年夏の中国への演奏旅行の報告もつぶさに聞きました。すばらしい体験をなされたみなさんが福永先生の棒で「ラ・マンチャの男」をうたう今日の演奏会、きっと何かあるでしょうね。とてもたのしみです。ご盛會を祈ります。

同志社グリークラブ  
OB会長

## 松本寛二

同志社グリークラブが誕生して今年で75年、そしてその記念演奏会が開かれるという、うれしいことだ。

そういえば私が同志社に入って三年目だったか、ちょっとつまびらかではないが、多分昭和10数年だったと思う。創立35周年を祝って記念演奏会を栄光館で、感謝の讚美礼拝をチャペルで催したことをおぼえている。宅孝二（ピアニスト）、湯浅永年（テノール）、大中寅二（オルガニスト）、森本芳雄（指揮者）らグリークラブが生んだ先輩音楽家たちも喜んでこれに参加、当時としては盛大な会だった。すでに日支間の雲行きがあやしく、世相はただならぬ空気につつまれ、いろいろな面で圧力があつた。それでも20数名という少ないメンバーでとにかく35周年を成功裡にやり終えたことを今さらのように思い起こすと同時に、今日のグリーの大きさ、重さに目を見はるのである。

それからはや40年、グリークラブは大成長した。メンバーは75周年にふさわしく、ゆうに70人を越えているようだし、技術面の進歩も、もう学生の域を脱し、セミプロ、いやプロ並みだといわれている。またその演奏活動も今や国内だけでなく、海外にまで進出、しかも各地で大反響をおこしているという。あと25年たったらさてどうなっていることだろう。75周年記念演奏会を喜ぶと同時に100年にむかう同志社グリークラブに、さらに大きな夢と期待をいだくのは決して私だけではないだろう。

グリークラブ75年、本当におめでとう。記念演奏会の成功を祈ってやまない。



## DOSHISHA COLLEGE SONG

作詩 W.M.Vories

作曲 Carl Wilhelm

## I Mass No.2 in G

1. Kyrie
2. Gloria
3. Credo
4. Sanctus
5. Benedictus
6. Agnus Dei

作曲 C.F.Gounod

指揮 千代沢 修一

## II 男声合唱曲「島よ」

作詩 伊藤海彦

作曲 大 中 恩

編曲 福永陽一郎

指揮 福永陽一郎

ピアノ 山本優子

INTERMISSION

## III 男声合唱組曲「日曜日」～ひとりぼっちの祈り～

- |         |          |
|---------|----------|
| 1. 朝    | 作詩 蓬萊泰三  |
| 2. 街で   | 作曲 南 安雄  |
| 3. かえり道 | 指揮 富岡 健  |
| 4. てがみ  | ピアノ 山本篤子 |
| 5. おやすみ |          |

## IV ミュージカル「Man of La Mancha」より

- |                                      |                |
|--------------------------------------|----------------|
| 1. Man of La Mancha (I, Don Quixote) | 作詩 Joe Darion  |
| 2. Dulcinea                          | 作曲 Mitch Leigh |
| 3. Little Bird, Little Bird          | 編曲 福永陽一郎       |
| 4. Golden Helmet of Mambrino         | 指揮 福永陽一郎       |
| 5. The Impossible Dream              | ピアノ 山本優子       |



## 曲目解説

# Mass No.2 in G

### シャルル・グノー

シャルル・グノー (Charles Gounod 1818~93年) は、フランスオペラ史上の不朽の名作「ファウスト」によって、アンブロアーズ・トーマ、ジョルジュ・ビゼー、ジュール・マスネらとともに、フランス近代オペラの作曲家として広く知られている。しかし、宗教的作品にも数多くの名曲を残し、ミサ曲だけでも18曲にも及んでいる。

グノーは1839年から43年までの4年間、フランス・アカデミーの給費生としてイタリアに留学し、この間に彼の全ての音楽の出発点となったものを学びとった。それがイタリアの古典、特に彼が生涯深い敬愛を捧げたパレストリーナの音楽であったことは意味深い。その後、フランスに戻ったグノーは、外国伝道教会の楽長兼オルガニストに就任した。しかしこの頃はまだ、僧職と音楽家との間で迷い、作曲家として立つ決心が容易につかず、約2年間神学の研究に没頭した。その後、ようやく音楽家として立つ決心を固め、1851年以後次々とオペラを発表していった。しかしこうして積極的に劇場に進出してからも、並行して宗教音楽を書くことをやめなかった。特に晩年に至って、彼は専ら宗教的神秘主義の中に身をひそめ、教会音楽の作曲に力を注ぐようになった。

グノーの音楽は、「官能」と「神秘」という二元的な性向の融合によって実現されたものであり、宗教的信仰と劇的抒情性が、彼の持っている二つのエッセンスである。そのことは特に、晩年の作品に共通してみられ、単なる形式的な教会音楽の域を超えた、いわば「劇的宗教音楽」ともいうべき性格のものである。1852~60年の間に作曲された「第二男声ミサ」は、こうした背景のもとで生まれた作品の中で最も著名なものの一つである。

### グノーの「第二男声ミサ」

本日演奏するグノーの「第二男声ミサ」は、1851年に彼が最初のオペラ「サフォー」を発表した翌年の1852年から60年の間に作曲されたいくつかの宗教音楽の中の一つである。すなわち、上述したように音楽家として立つ決心を固め、劇場音楽・宗教音楽の両面で積極的に活動を開始した時期にあたる。この頃のものとしては、この曲の他にも、有名なものとして、1855年に作曲された「聖チェチリアのための荘厳ミサ」があげられる。グノーが、フランスの男声合唱運動組織であるオルフェオンの会長であったのもこの頃であり、「第二男声ミサ」は、オルフェオンの大会のために作曲したものであるとされている。

「第二男声ミサ」は、文字通り、彼が男声合唱のために二番目に作曲したミサであり、同じフランスの作曲家アルベール・デュオパの「荘厳ミサ曲」と同様、男声合唱のミサ曲の中で最も有名なものであり、多くの男声合唱団に好まれている。

ランドルミの言葉を借りて、この曲の魅力を語るなら次の様に言えると思う。「彼の旋律線は、ゆっくりと浮かびでる輪郭の中に、おそらく丸味を帯びて、物憂く沈んでゆく。それは……しかし、まろやかなといって何かこうなまめかしく、あるいは気取った所もないではない……。和やんだ終結に安らうのである……。それはまず感覚に触れるが、魂にまで行きつく……。最上の瞬間には或る種の荘重さを帯び、その調子が宗教的な色合いをみせる。」

原譜にはオルガン伴奏が付いているが、本日はあえて無伴奏に挑戦してみた。伴奏付きの演奏を聞き慣れておられる方々には、多少不自然な感じを与えるかもしれぬが、反面アカペラの男声合唱の魅力に十分に味わっていただけるものと確信している。

個人的には信仰宗教は様々であるが、キリスト教系の同志社で学ぶ我々にとって、ミサを歌えることはうれしいことであり、それだけに同志社の名に恥じない演奏をしたいと思っている。場内にいらっしやるすべての皆様に、ミサの持つ美しさや荘厳さ等の魅力をお伝えし、また、一瞬でも厳粛なる雰囲気にお誘いして平安なる気分を味わっていただけたら……という野望を抱きつつ、ステージに立ちたいと思う。



Charles Gounod (1818~93年)

### Kyrie

Kyrie eleison,  
Christe eleison,  
Kyrie eleison.

主よ、あわれみたまえ  
キリストよ、あわれみたまえ  
主よ、あわれみたまえ

### Gloria

Gloria in excelsis Deo. Et in terra pax hominibus bonae voluntatis. Laudamus te, benedicimus te, adoramus te, glorificamus te. Gratias agimus tibi propter magnam gloriam tuam. Domine Deus, Rex coelestis, Deus Pater omnipotens.

天にいます神には栄光が、そして地上では心の良い人たちに平和がありますように。私たちはあなたをほめ、あなたを祝福し、あなたを崇め、あなたを讃え、あなたの大きな栄光に感謝を捧げます。主である神よ、天の王よ、全能の父である神よ。

Domine Fili unigenite, Jesu Christe. Domine Deus, Agnus Dei, Filius Patris. Qui tollis peccata mundi, miserere nobis, Qui tollis peccata mundi, suscipe deprecationem nostram. Qui sedes ad dexteram Patris, miserere nobis.

ただ一人の御子であられる、主なるイエス・キリスト、主なる神、神の小羊、父の御子、この世の罪を除きたもう方よ、私たちをおあわれみ下さい、この世の罪を除きたもう方よ、私たちの謝罪をお受け下さい。神の右側にお坐りになられるお方よ、どうぞ私たちをおあわれみ下さい。

Quoniam tu solus sanctus. Tu solus Dominus. Tu solus altissimus, Jesu Christe, cum Sancto Spiritu, in gloria Dei Patris. Amen.

なぜなら、あなただけが聖く、あなただけが主なる方で、あなただけが最も高い方だからです。聖霊を従え、神の栄光に包まれたイエス・キリストよ。 アーメン

### Credo

Credo in unum Deum, Patrem omnipotentem, factorem coeli et terrae, visibilium omnium et invisibilium.

私はただ一人の神、全能の父、天と地の創造者、すべての目に見えるもの、目に見えぬものの創造者であられる方を信じます。

Et in unum Dominum Jesum Christum, Filium Dei unigenitum, et ex Patre natum ante omnia saecula. Deum de Deo; Lumen de Lumine; Deum verum de Deo vero; genitum non factum; consubstantialem Patri, per quem omnia facta sunt. Qui propter nos homines, et propter nostram salutem, descendit de coelis.

そしてただ一人の主なるイエス・キリスト、ただ一人の神の御子で、すべての世紀の始まる前に神よりお生まれになり、神から生まれた神、光から生まれた光、真の神から生まれた真の神であられる方を信じます。この方は神からお生まれになったのであって、神がお作りになったものではなく、神と同質で、この方とおして、すべてのものは作られました。

Et incarnatus est de Spiritu Sancto, ex Maria Virgine; et homo factus est. Crucifixus etiam pro nobis; sub Pontio Pilato passus et sepultus est.

この方は、私たち人間のために、人間を救済するために、天よりお降りになり、聖霊の手によって処女マリアより肉体を受けられ、人間とされました。そして私たちのために、十字架にかけられました。ポンティウス・ピラテのもとに受難し、埋葬されました。

Et resurrexit tertia die secundum Scripturas; et ascendit in coelum; sedet ad dexteram Patris; et iterum venturus est cum gloria judicare vivos et mortuos; cujus regni non erit finis.

そして三日目に、聖書に従って復活されました。そして昇天され、神の右にお坐りになりました。そしてやがて栄光と共に、生きている者と死んだ者とを裁くために再びお出でになります。この方の御代は終わることがありません。

Et in Spiritum Sanctum, Dominum et vivificantem; qui ex Patre Filioque procedit. Qui cum Patre et Filio simul adoratur et conglorificatur; qui locutus est per prophetas. Et unum Sanctam Catholicam et Apostolicam Ecclesiam. Confiteor unum Baptisma in remissionem peccatorum et expecto resurrectionem mortuorum, et vitam venturi saeculi. Amen.

そして私は、主であって、生命の創造者である聖霊を信じます。聖霊は神と御子より出て、神と御子と共に、崇められ、たたえられます。そして預言者の口を借りて、お話しになります。そして私はただ一つの聖なる、普遍的で、伝導的な教会を信じます。私は罪を除くためのただ一つの洗礼を信じます。そして死んだ者の復活を期待し、この次の世の生活に期待します。

アーメン

### Sanctus

Sanctus, Sanctus, Sanctus, Dominus Deus Sabaoth. Pleni sunt coeli et terra gloria Tua. Hosanna in excelsis.

聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、万軍の主なる神は。あなたの栄光は天と地に満ちています。天の高いところにホザンナを。

### Benedictus

Benedictus qui venit in nomine Domini. Hosanna in excelsis.

主の御名のもとに来るものは祝福されるだろう。天の高い所にホザンナを。

### Agnus Dei

Agnus Dei, Qui tollis peccata mundi, miserere nobis. Agnus Dei, qui tollis peccata mundi: Dona nobis pacem. Amen.

この世の罪を除きたもう神の小羊よ、私たちをおあわれみ下さい。この世の罪を除きたもう神の小羊よ、私たちに平安をお与え下さい。 アーメン



# 曲目解説

## 男声合唱曲「島よ」

### 「島よ」とその男声合唱版

福永陽一郎

合唱音楽の作曲家として現在の日本を代表する一人であると自他ともに許す大中恩（敬称略）の種々の作品は、私にとって、実に親しいものとなっている。大中作品が存在しなかったら、私の過去の合唱活動の半分は成立しなかったと思えるくらいである。

大中恩の曲で初めてレコードになったのは、「私の動物園」と「ブーム・ブーム」で、昭和35年頃のことだが、そのレコードは、当時全盛時代だった二期会合唱団を私が指揮したものであった。以来、レコード録音、ラジオ放送、そして勿論のこと、数多くのコンサートで、大中作品を指揮し演奏してきた。大中恩は、周知のとおり、自分の合唱団として『コール・Meg』を持っており、自分の全合唱作品を自分で指揮してステージに乗せているが、彼自身を除外すれば、私は大中作品の最多指揮者ではないだろうか。

「島よ」は、昭和45年の芸術祭優秀賞を獲得した混声合唱曲で、すぐれた合唱曲が多い大中作品のなかでも、出色の出来映えを見せている秀作である。この曲が出版された頃、私は病床についていたのだが、この曲の楽譜を読んでいると、ところどころにある“決めどころ”の感動的な盛りあがり興奮を覚え、生命力が身体の内側から湧出するのを熱いように実感した記憶がある。数年後の今日、私が元気に活動できるようになった力の根源に、あるいは「島よ」への感動があるのかもしれない。

私は「島よ」も、数多くステージに掛けた。レコード録音もした。私の指揮する合唱団が、大学の混声合唱団として史上初の全日本コンクール優勝を成し遂げたときの自由曲も、この曲の一部であった。私はこの曲の演奏のための自分の解釈にかなりの根拠を獲得するだけの経験を積んだと思っている。

大中恩の男声合唱曲で成功した作品は「わが歳月」と「走れわが心」であろう。私は、前者の初演をし、後者においても、作曲者を満足させる演奏をしたことがある。しかし、男声合唱曲の書法の点で、大中恩は、混声合唱や女声合唱の場合ほど自在にゆかないものを感じているようである。

「島よ」の詩が「男」の宿命をうたったものであり、音楽がまた、男声合唱のイメージで作曲されたものであるならば、レパートリーの不足をかこつ男声合唱団のためにこれを男声合唱曲にするという発想は、ごく自然な人情として受け取られてしかるべきであろう。大中恩の混声合唱曲は、混声合唱の機能を十二分に知りつくした上で、その表現力を十全に生かしたものであるから、男声合唱への編成替えは、ほとんど不可能に近い困難さをともなった作業になる。そのことを承知の上で、なお、男声合唱で「島よ」をうたいたいという要求は、各所で高まっていった。

実は、早稲田大学グリーンクラブが初演した福永陽一郎編曲の前に、「島よ」は、二度、男声合唱曲化されている。一度は、西南学院グリーンクラブの指揮者であった完戸真人によって、もう一度は、名古屋工大合唱団の指揮者であった永友博信によって。この二度の編曲は、いずれも私の指導下になされたのであるが、それぞれの個性的なアイデアを尊重したために、かなり別個の表面を持った出来上がりになっている。

私の編曲は、また別にオリジナルに書きおろされた編曲で、原曲が同一である以上、前二者と共通の箇所もすくなくないが、そのどちらとも違っているところがある。当然のことながら、私は、原曲の中の男声合唱的イメージをそのまま生かしつつ、混声合唱での共鳴音に匹敵する声の響きをつくりだそうとつとめながら編曲したつもりである。

### メッセージ

大中 恩

同志社グリーンクラブの第75回定期演奏会を心から祝福いたします。

福永さんとの縁で、グリーンクラブと私は、1964年グリーンクラブ60周年事業の一端として、委嘱作品「わが歳月」を作曲したことから、いろいろなお付き合いをして来ました。また、私の父も60年ぐらい前、グリーンクラブの一員であったそうで、それやこれやで、私自身勝手にグリーンクラブの身内のような気持ちでいるわけです。

今夜は「島よ」を歌われるのですが、これは原曲は混声合唱で、福永さんが男声合唱に編曲されたものです。伊藤海彦さんの詩は寧ろ男声合唱的なものなので問題はないのですが、私は作曲上、音の構成などから言って、混声合唱曲を男声合唱曲になおすことは概して無理なことだと思っています。「島よ」が各方面からそういう要望があった時、自分ではとても出来ない作業だと思ったので、そういう作業でいくつかの成功を収められている福永さんに全面的におまかせした次第です。

まだその成果を耳にしていないので、福永さんとその手兵同志社グリーンクラブによる男声合唱曲「島よ」を、音としてたしかめてみたい期待感でいっぱいです。他のステージと共に、若さあふれる音楽でありませうように……。

## 島よ

伊藤海彦

島よ  
碧い日々にとりまかされているものよ  
時の波に洗われているものよ  
翼もなく 鱗もなく  
涯てしなさにうづまるもの  
距てられただひとり耐えているもの  
憧れと虚しさあまたの眼に  
みつめられているものよ

——島よ

まぶしさに吹かれながら  
島は夢みる  
波の言葉に誘われていつか  
漂うことを。

見すてられた沈黙  
その悲しみを断ちきって  
ある日ふと魚のように  
漂うことを。

——かすかに煙る明日  
沖の彼方 煙る明日

ああだが  
どこに行けるというのだろう  
遠い昔からそうだったように  
島はさだめられたひとりを生きる

…………なぜなぜなぜ  
その孤独から空にむかって  
問いかける 樹々の緑  
…………なぜなぜなぜ  
白く泡だつ声をめぐらし  
島はひっそりと重くなる  
忘れられた 果実のように

降りしきる雨のなかで  
島よ  
おまえは傷ついたけもの

はてしない 波だつ荒野の  
巖に落ちた 小さなけもの  
枝をしなわせ 葉むらを打ち  
泥をこね 突き崩し 押し流す  
雨、雨、雨、……………  
ああ 空と海との  
まざりあうこの狂気  
とめどなく 島を噛み 島を裂く 暗い力

そしてまた 島は失う  
数しれぬ 昼と夜  
そがれ けづられ  
いくたびも失いつづけたものを  
岩と土 夢と砂とを

雨は降り  
風まじり、雨はつりの  
島は確かめる  
ひとときごとに失われる自分を  
島は濡れ 島は沈む  
島であることの いらだち  
島でしかないことの 悲しみのなかに

波の果て 陽が落ちるとき  
赫々と身を染めて  
島はおもう  
遠い昔 炎だったことを  
熱く溶けた 叫びだったことを  
落日を身に浴びて  
島はきく  
わきたつ海の  
その底をゆるがすひびき  
島はきく  
忘れていた はるかな生命  
母なる岩漿の ひとつの声を

——ああ  
溢れ こみあげ ほとぼしる岩漿  
焼けただれ とび散る 熔岩  
灰と煙と にえたぎる海  
かけのぼり 走り 空をひきさき

かぎりなく  
落ちて 落ちて 落ちつづける  
灼熱の雪崩……………

……………  
空は変わり 風はひそみ  
夜へ傾く時のなかで  
島はあたらしくなる  
呼びさまされた声を孕み  
島は鮮やかに生きはじめる

島は感じる  
ふかい夜のむこうから  
やってくるものの気配を  
長い旅から かえってくる風を  
たえずあの 青空の告げていたもの  
怖ろしいまでの優しさ  
ときあかせぬ 大気の微笑を

島は感じる  
やってくるものの気配を  
見知らぬ一日が  
吐息のようにひろがるのを

島よ  
のがれようもなく孤りであるものよ  
心のなか 虚ろな海に  
浮かんでいるものよ  
日ごと夜ごと その身をそがれ  
なお遠い 火の刻印を守りつづけるものよ

島よ  
おまえは 私ではないのか  
散り散りの、人という名の  
儚ない島——  
私ではないのか

——島よ



# 曲目解説

## 男声合唱組曲「日曜日」 ～ひとりぼっちの祈り～

### 「日曜日」について

富岡 健

——私の幼い日々、父や母と共にすごした日はやはり日曜日だった。そんな日の朝、眼をさますと、父は茶の間で新聞を読んでいた。母は父に茶を勧めていた。父は、私の起きたことに気がつく、「さあ、約束どおり、ドライブに行こうか。」と私によく声をかけたものであった。のどかな、胸はずむ日であった。父や母に私という存在を知らしめる、大切な機会の日でもあった。そして、その日は、私を中心にして動き回る。私そのものの日でもあった。そうした日曜日の印象は誰でも持っているものであり、また誰もの記憶にいつまでも留まっている、なつかしい日々ではなからうか。しかし、そんな日が突然失われ、父や母が永遠に帰らぬ人となった時、果たしてもとの日曜日という日を、われわれはどのように眺め得るであろうか。またわれわれは、その悲しみにどのように対処するであろうか。作品「日曜日」はこの課題に向かって突き進む。更には交通事故の加害者の子供という罪の意識を背負いつつ、社会の圧迫に苦しみ、悶える子供の姿を、大阪弁という人間臭い、言葉のリズムを用いて描いてゆく——

上記の文は、過去二回東西四大学の演奏会で早稲田、関学がこの作品を取り上げたときに掲載した曲目紹介の一部である。この組曲の性格を功妙に表現してくれているのでそのまま引用させていただいた。

この作品「日曜日」のオリジナルである混声合唱曲は昭和45年度芸術祭優秀賞を受賞しており、楽譜も日本放送出版協会から出されている。この男声版も同協会から出版されているものの、男声合唱の機能というべき点から無理な音の配列が随所にみうけられ、そのままの型での演奏は今日なされていない。早稲田や関学が取り上げたときに、作曲者がこれに手を加えた改訂版が完成された。今日の同志社グリーの演奏はこの改訂版によるものである。

### 1 朝

平和な日曜日の朝。平凡でどこにでも見うけられる家庭。そこに突如として訪れた不幸。両親を失った子供がひとりごとを繰り返す。

### 2 街で

一人で街へ出て車の流れを眺める目。一人で百貨店へ行って大食堂を眺める目。一人で遊園地へ出かけ、よその子を見る目。

### 3 かえり道

事故で父母を失った悲しみよりも、事故で他人を殺してしまった加害者の子としての自分。回り道したくないのに……。みんなの前を走り抜けたくないのに……。

### 4 てがみ

加害者の子が被害者の子供にあてた手紙。おとうちゃんをかんになしてあげて下さいと切望する。

### 5 おやすみ

なくなった両親への思い。自分は加害者の子であっても、親を責めるどころかやさしさにあふれている思い。天国へ行かしてもらいや……。



## 日曜日 ～ひとりぼっちの祈り～

蓬 萊 泰 三

### 1 朝

お父ちゃん はよおきや  
ええ天気やで 青空やで  
はよおきなんだら こそぼすで  
ふとんめくるで 鼻つまむで  
はよ はよ はようおきいな  
日曜日やで やすみやで  
どっか 連れてってえな  
なあ なあ なあて お父ちゃん!

お母ちゃん おけしょうまだか  
おべんと持ったで 服きたで  
はよせなんだら おいとくで  
なんにもせんかて きれえやで  
はよ はよ はようしてえな  
どないたかて いっしょやで  
はよせな 昼になるやんか  
なあ なあ なあて お母ちゃん!

けど  
もう  
お父ちゃん いてへん  
お母ちゃんも いてへん  
けど  
やっばり  
日曜の朝になったらくり返す  
ひとりぼっちの  
ひとりぼっちの ぼくの  
ひとりごと…

あつという間に いっぺんに  
クルマといっしょに 死んでもた  
ショウトツジコで がけからおちて  
死んでもた……

ひとりぼっち  
ひとりぼっち  
そやから そやから  
ぼくは  
ひとりごと……

お父ちゃん はよおきや  
お母ちゃん おけしょうまだか  
ええ天気やで 青空やで  
おべんとう持ったで  
服きたで……

### 2 街で

はしる はしる はしる  
クルマ クルマ クルマ  
日曜のコウサテン  
ぼくのまわり  
はしる はしる はしる  
クルマ クルマ クルマ

のってるおっちゃん  
よそのおっちゃん

わろてる  
わろてる  
わろてる

さがしてるのやあらへんぞ  
死んだお父ちゃんなんか  
さがしてるのやあらへんぞ  
たいくつやさかい  
見てるだけやわい

たべてる たべてる たべてる  
カレー うな井 スパゲッティ  
デパート八階 大食堂  
ミツマメ お子さまランチ  
クリームパフェ

たべてるおばちゃん  
よそのおばちゃん  
わろてる  
わろてる  
わろてる

さがしてるのやあらへんぞ  
死んだお母ちゃんなんか  
さがしてるのやあらへんぞ  
たいくつやさかい  
見てるだけやわい

まわる おどる はしる  
回転木馬 ゴーカート モノレール  
デパートの屋上ひろば  
まわる おどる はしる  
マジックガン ミニロケット

のってる子  
よその子  
わろてる  
わろてる  
わろてる

前にのったわい  
なんぼでも 前にのったわい  
うらやましいことなんかあらへんわい  
たいくつやさかい 見てるだけやわい  
ほっといてんか!

なんでや!? なんでやねん!?  
なんでそないに ジロジロ見るねん!?  
おつたらいかんのか!?  
見たらいかんのか!?  
なんで!? なんでいかなのや!!

### 3 かえり道

あそんでる  
みんながいっしょにあそんでる  
かえり道  
見て見ぬふりして  
まわり道  
そやのに みんなが追ってくる  
みんなの声が追ってくる  
ヒトゴロシノコ

ヒトゴロシノコ  
ヒトゴロシノコ

ちがうわい ちがうわい ちがうわい  
ぼくのお父ちゃん ええ人やったわい  
ちがうわい ちがうわい ちがうわい  
なんぼなど言え へっちゃらやわい!

ヒトゴロシノコ  
ヒトゴロシノコ  
ヒトゴロシノコ  
ヒトゴロシノコ

はしりとないのに はしってしまう  
耳おさえ 目エをつぶって  
はしってしまう  
ああ……!

ヒトゴロシノコ  
ヒトゴロシノコ  
ヒトゴロシノコ  
ヒトゴロシノコ

あほ ばか まぬけ 柿のへた!  
あほ ばか まぬけ 柿のへた!  
前にビー玉やったのに  
チュウインガムもやったのに  
マンガの本かてやったのに  
はくじょうもん! うらぎりもん!

はしるな はしるな ぼくのあし!  
あるけ あるけ ぼくのあし!  
プロレスみたいに  
ヨコヅナみたいに  
あるけ あるけ あるけ!

はしるな はしるな はしるな!  
とまれ とまれ とまれ ぼくのあし!  
はしるな はしるな はしるな!  
とまれ とまれ とまれ とまれ!  
お父ちゃん!  
なんで!? なんでお酒のんで運転したんや!?

ははいけい  
こんにちは  
あしのおけがは どうですか  
ぼくは きみとこのクルマに  
ショウトツさしたヒトの こどもです  
きみは きっと  
おこってはるやろと おもいます  
ぼくのお父ちゃんのこと  
ものすご おこってはるやろとおもいます

お父ちゃんが お酒のんで  
追いこしなんか せなんだら

お父ちゃん おやすみ  
お母ちゃん おやすみ  
仲ようしいや  
仲ようしいや  
そいで 天国へ行かしてもらいや  
ねんねころいち  
おやすみなさい  
またあした  
またあした……

きみも ひとりぼっちにならんですんだんです  
あしも けがせんですんだんです

かんになしたげてください  
ぼくのお父ちゃんを  
かんになしたげてください

もし きみが  
一生びっこになって  
はたらけんようになったら  
ぼくがベンショウします  
うんと はたらいて  
お金をためて……

お金もあげます  
家もあげます  
ごちそうもあげます  
きっとちかいます

そやから  
どうか  
ぼくのお父ちゃんを  
かんになしたげてください  
おねがいします  
おねがいします  
おねがいします  
さようなら

### 5 おやすみ

ねんねころいち  
お父ちゃん ねたか  
星から ぼくが見えるか  
お酒のみなや  
おとなしいにしいや  
天のカミサンに おこられるで……

ねんねころいち  
お母ちゃん ねたか  
あんまり お父ちゃんいじめなや  
けんかしいなや  
仲ようしいや  
天のカミサンに わられるで……

ねんねころいち  
お父ちゃん おやすみ  
お母ちゃん おやすみ  
仲ようしいや  
仲ようしいや  
そいで 天国へ行かしてもらいや  
ねんねころいち  
おやすみなさい  
またあした  
またあした……



## 曲目解説

### ミュージカル「Man of La Mancha」より

#### ミュージカル「ラ・マンチャの男」について

デイル・ワッサーマンの脚本、ジョー・ダリオンの詞、そしてミッチ・リーの曲によるミュージカル「ラ・マンチャの男」は現代演劇における不朽の名作として戦後、最も多くの賛辞を寄せられた。1965年11月のブロードウェイの初演以来、ニューヨーク批評家による「最優秀ミュージカル賞」をはじめ、数々の賞を獲得し、ブロードウェイ、オフブロードウェイで5年間のロングランを続けた。日本では69年、市川染五郎主演で上演され、また72年には、監督アーサー・ヒラー、主演ピーター・オートゥール、ソフィア・ローレンで映画化された。

「ラ・マンチャの男」とはいうまでもなく、世界中の子供達までもが知っている「ドン・キホーテ」のことである。ラ・マンチャとはスペインの中心部マドリッドからさらに南方へさがった内陸部の一地方である。では、「ラ・マンチャの男」とは「ドン・キホーテ」のミュージカル化なのか？ 実は、この作品はそうでない所に独自の価値があるといえるのである。「ドン・キホーテ」は原作そのものの冗漫さもあって、なじみ深い。しかしこのミュージカルは、深い、本質の脚色を行なった。すなわち、ドン・キホーテを創ったセルバンテスその人を、彼の産んだドン・キホーテと重ね合わせて登場させるという大胆な着想である。

孤高の反体制作家セルバンテスと彼の創作の主人公“気狂い騎士”ドン・キホーテ。そしてドン・キホーテの“前身”である老田舎騎士キハナ。この三人の現実。架空の人物が渾然と一つの肉体に溶け合っ

て、愛と勇気をたたえる一つのドラマの一人格としての主人公を構成するのである。「ラ・マンチャの男」が成功したのは上に述べたような脚本のよさもあるが、それにも増して重要なのは音楽のよさである。作曲者のミッチ・リー（1928年ニューヨーク生まれ）による、大胆にもフラメンコのリズムをモチーフに取り入れた数々のナンバーは、脚本とよくマッチして、音楽的にも成功した。秀作「見果てぬ夢」(The Impossible Dream) は人間永遠のテーマを唄ったものであり、世界中で大ヒットし、既にスタンダード・ナンバーとなっている。

このミュージカルの最大のテーマは、ラストシーン＝「見果てぬ夢」に集約されている。牢の中でセルバンテスの語るドン・キホーテ譚に感動した囚人達が、今度は「見果てぬ夢」の大合唱で彼を法廷へ送り出す。今彼は、古い教条主義に対し徒勞に終わるであろう挑戦をする。その無償の挑戦にしか純な生き方、価値ある人生はあり得ぬことを囚人達は学んだ。いま一つ注目すべきは、物語がセルバンテスの有罪を証明するために始まったにもかかわらず、無罪を立証して終わることである。無罪にしたのは囚人達であり、その根拠は誰も語らない。あえていえば、それは人間の根源的な連帯性、つまりアイデンティティーとも呼ぶより仕方ないものであろう。ミュージカル「ラ・マンチャの男」は、このようにして、16世紀からの呼びかけを、21世紀のきびしい時代に立ち向かおうとする私達に仲立ちするのである。

#### 物語

ミゲル・デ・セルバンテスと彼の召使いマンセルバントが教会侮辱の罪で投獄され、そこの囚人達に罪の申し開きを迫られる。そこで彼は芝居の形で牢を舞台にたとえて、自らを釈明するのである。彼と彼の召使いはドン・キホーテとサンチョ・パンザに扮して物語は始まった……。

ラ・マンチャという所に住む老いた騎士キハナは、余りに多くの騎士物語を読みすぎて、遂に気が狂い、自分を正義と勇気の騎士ドン・キホーテと思い込む。そして召使いサンチョを従えて、悪を倒さんがため出陣するのであった。彼は幻影の中に生きる騎士である。彼は風車を怪物とみなし、古い木賃宿が一国の主の城

と見える。その宿屋の女中で売春婦のアルドンサは、彼にとって理想の女性ダルシネア姫であった。彼は心の底から彼女に真心を尽くし、彼女の胸にもこの老人を騎士として慕う心が湧いてきた。彼女は彼の騎士叙勲式に参列した。しかし、ろば追いの男達に乱暴されそうになって、キホーテとパンザを交えて大乱闘となる。やがて彼は神父や医師達に故郷へ連れ戻されると、気のふれた老人キハナに戻った。彼はやがて死の床につくが、そこへアルドンサが訪ねて来た。彼女は自分をダルシネア姫と呼んでくれた彼が忘れられなかったのだ。彼はもう一度姫の前で正義と勇気の騎士ドン・キホーテに戻って息絶えた。しかしアルドンサの胸の中にはドン・キホーテは生きている。彼の愛と信念は彼女をすっかり変えてしまったのだ……。再び牢獄の中、囚人達はセルバンテスの物語に深く感動していた。一同は裁判を受けるために出てゆくセルバンテスとマンセルバントを、「見果てぬ夢」の大合唱で送るのであった。

#### ● MAN OF LA MANCHA (I, DON QUIXOTE)

Hear me now  
Oh thou bleak and unbearable world  
Thou art base and debauched as can be  
And a knight with his banners  
All bravely unfurled  
Now hurls down his gauntlet to thee

I am, I, Don Quixote  
The Lord of La Mancha  
My destiny calls and I go  
And the wild winds of fortune  
Will carry me onward  
Withersoever they blow  
Withersoever they blow  
Onward to glory I go

Hear me, Heathens and Wizards and serpents of sin  
All your dastardly doings are past.  
For a holy endeavor is now to begin  
And virtue shall triumph at last!

#### ● DULCINEA

I have dreamed thee too long  
Never seen thee or touched thee,  
But known thee with all of my heart  
Half a pray'r half a song  
Thou hast always been with me  
Though we have been always apart

Dulcinea, Dulcinea,  
I see heaven when I see thee  
Dulcinea  
And thy name is like a prayer  
An angel whispers  
Dulcinea, Dulcinea.

If I reach out to thee  
Do not tremble and shrink  
From the touch of my hand on thy hair  
Let my fingers but see  
Thou art warm and alive  
And no phantom to fade in the air

Dulcinea, Dulcinea,  
I have sought thee, sung thee,  
Dreamed thee..  
Dulcinea  
Now I've found thee  
And the world shall know thy glory  
Dulcinea, Dulcinea.

#### ● LITTLE BIRD, LITTLE BIRD

Little bird, little bird,  
In the cinnamon tree  
Little bird, little bird,

Do you sing for me?  
Do you bring me word of one I know?  
Little bird, little bird,  
I love her so.  
Little bird, little bird,  
I have to know  
Little bird, little bird,

Beneath this tree  
This cinnamon tree  
We learned to love  
We learned to cry  
For here we met  
And here we kissed  
And here one cold and  
Moonless night  
We said goodbye

Little bird, little bird,  
Oh, have pity on me  
Little bird, little bird  
Bring her back to me now  
Little bird, little bird,  
'Neath the cinnamon tree  
Little bird, little bird,  
I have waited too long  
Little bird, without a song  
Little bird,  
Little bird, little bird,  
Please fly, please go  
Little bird, little bird,  
And tell her so  
Little bird, little bird.

#### ● GOLDEN HELMET OF MAMBRINO

Oh I'm a little barber  
And I go my merry way  
With my razors and my leeches  
I can always earn my pay  
Though your chin be smooth as satin  
You will need me soon, I know  
For the lord protects his barbers  
And he makes the stubble grow

If I slip while I am shaving you  
And cut you to the quick  
You can use me as a doctor  
'Cause I also heal the sick

Thou golden helmet of Mambrino  
With so illustrious a past  
To long hast thou been lost to glory  
But rediscovered now at last

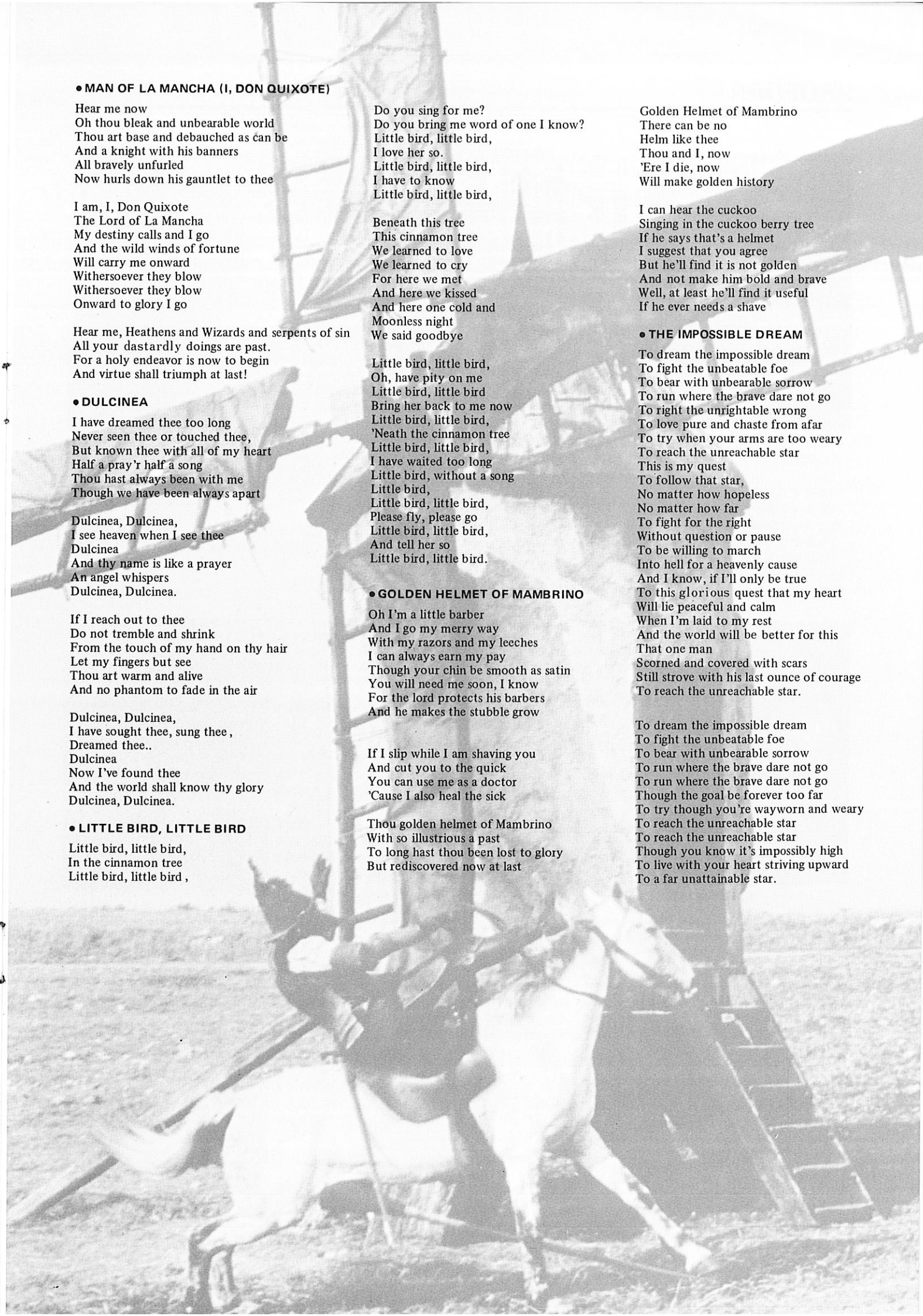
Golden Helmet of Mambrino  
There can be no  
Helm like thee  
Thou and I, now  
'Ere I die, now  
Will make golden history

I can hear the cuckoo  
Singing in the cuckoo berry tree  
If he says that's a helmet  
I suggest that you agree  
But he'll find it is not golden  
And not make him bold and brave  
Well, at least he'll find it useful  
If he ever needs a shave

#### ● THE IMPOSSIBLE DREAM

To dream the impossible dream  
To fight the unbeatable foe  
To bear with unbearable sorrow  
To run where the brave dare not go  
To right the unrightable wrong  
To love pure and chaste from afar  
To try when your arms are too weary  
To reach the unreachable star  
This is my quest  
To follow that star,  
No matter how hopeless  
No matter how far  
To fight for the right  
Without question or pause  
To be willing to march  
Into hell for a heavenly cause  
And I know, if I'll only be true  
To this glorious quest that my heart  
Will lie peaceful and calm  
When I'm laid to my rest  
And the world will be better for this  
That one man  
Scorned and covered with scars  
Still strove with his last ounce of courage  
To reach the unreachable star.

To dream the impossible dream  
To fight the unbeatable foe  
To bear with unbearable sorrow  
To run where the brave dare not go  
To run where the brave dare not go  
Though the goal be forever too far  
To try though you're wayworn and weary  
To reach the unreachable star  
To reach the unreachable star  
Though you know it's impossibly high  
To live with your heart striving upward  
To a far unattainable star.







福永 一郎  
〈技術顧問〉

1926年神戸に生まれる。東京音楽学校（現東京芸大）本科ピアノ科出身。井口基成、豊増昇氏に師事。在学中より東宝交響楽団（現東京交響楽団）で近衛秀麿氏の助手をつとめる。1951年藤原歌劇団に入団し、ピアニスト、副指揮者、合唱指揮者として経験を積み、M・グルリット氏に師事。1956年～65年、藤原歌劇団常任指揮者として活躍し、同団の第三次渡米公演に同行。アメリカ、カナダの主要46都市での公演を指揮した。1959年、61年、63年、71年にNHKのイタリア・オペラ来日公演に日本側代表指揮者として参加。副指揮者、合唱指揮者をつとめる。オペラ指揮者として日本屈指のベテランである。

合唱音楽に関しても経験が深く、合唱界の第一人者の一人である。プロ、アマを通じての指揮、講師、審査員としての活動、編曲、レコード録音など、数えきれないほど多方面にわたって活躍している。評論活動も注目されている。

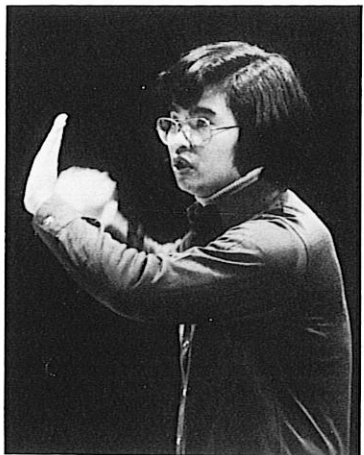
1979年ウィーン世界青少年音楽祭国際合唱コンクール審査員。

いい予感

夏——演奏会の日から見れば“去年の夏”、同志社グリーンが中国を訪演している間、ボクはヨーロッパへ出掛けている、メキシコを廻ってから帰国した。そして秋になってグリーンと再会したとき、ボクはなぜか、ひどく新鮮な気分を味わったのだ。そしてそれは、とてもいい気持ちにさせられる雰囲気だった。長い年月にわたるつきあいの間にたまっていた澱のようなものが、すっかり洗い流されたあとの、すがすがしさが、秋の空のように澄みわたっていた。

そのままの気分が、練習を重ねても、ずっと残っていて、ここ数年、なかったような心のはずみが、グリーンを前にして立つボクの中にいつもある。理由は問うまい、と思う。この“いい気分”の中から生まれる音楽であれば、きっと誰にとっても、やる側うたう側にとっても、きき手の人々にとっても良いものになるだろうと、たいへん楽天的になっている自分に、すこし戸惑ったりもするが、なにも悪くルーズになっているわけではないし、これでいいのだ、これが本当だと思い返したりもしている。

とにかく、(久しぶりのような気がするが)今年、は、きっと、たいへん良い演奏会になるだろう、という気が、とても強くしている。このまま、ステージにのぞみたいものだ。(’79年12月4日記)



富岡 健  
〈指揮者〉

昭和49年3月同志社大学法学部卒業。同年4月グリークラブアメリカ演奏旅行に学生指揮者として参加後、Wayne State Univ. の音楽学部指揮科に入学。その間 Student Assistant として同校の合唱団の指導や、Detroit Symphony 傘下の Detroit Youth Symphony の Assistant Conductor として研鑽をつむ。52年9月帰国後、関西の多くの合唱団の指導にあたっている。一昨年の第74回定期演奏会より同志社グリークラブ指揮者に就任した。

今年度の前期は東西四大学、夏休みは快挙とも言うべき中国への演奏旅行、そして後期は定期演奏会とメサイア、というように一年を通して現役のみなさんとべつとり行動を共にさせていただきました。東西四大学にしても、中国演奏旅行にしても、正式にグリークラブの指揮者という席をあくまで一年にもならない私にとつて、少なからずその責任の重さに不安も残りましたが、福永先生、大久保先生の有難いお力添えを得て、また現役のみなさんの協力のもとに、ベストの仕事が出来たことをよこんでいます。特に中国演奏旅行で寝食を共にした二週間は、それまで先輩、後輩という関係でありながらまだ残っていたごちなさを消しとばす働きをしてくれました。前回の定期演奏会では、プログラムのメッセージを一つ書き上げるにもなにか気負いとったようなものを感じながらペンを走らせていたことを思い出しますが、今回は随分異なった気分であることを覚えます。

私とグリーの現役のみなさんとは以前にもまして親しくなりました。これからが同志社グリークラブという若者集団とともに私が出来ることを模索しなければならぬ時期であると認識しています。



千代沢 修一  
〈第四十八代学生指揮者〉

昭和31年埼玉県生まれ。県立川越高校時代吹奏楽部のユーホニウム奏者として活躍。昭和51年同志社大学経済学部入学と同時にグリークラブ入部。一昨年副指揮者として研鑽をつみ、昨年春、「日本民謡」を指揮して合唱界にデビュー。

彼の体に似合わぬあのダイナミックな指揮は、いったいどこから生まれるのだろうか。それはおそらく、グリーという忙しいクラブにもかかわらず、新聞配達、牛乳配達、ホテルのボーイ（時々グリーのステージコートを利用した）などのバイトでつちかわれた体力が、彼をそうさせたのであろう。また“ラッタッタ”を多く利用する同志社の学生の中であって、彼はひたすら自転車を楽しみ、今日も愛用の中古自転車「千代沢号」で練習に出てくるのである。



大久保 昭男  
〈ヴォイストレーナー〉

昭和28年東京芸術大学音楽学部声楽科を卒業。矢田部勤吉氏に師事。近衛秀麿指揮、青山杉作演出によるオペラ「カルメン」のモラレス役でデビュー。山田耕符作曲、指揮のオペラ「黒船」、ドヴォルザークのオペラ「ルサルカ」等にも出演。昭和34年にドイツ・リート、日本歌曲によって第一回リサイタルを開く。現在、演奏に、大学合唱団の発声指導に全国的に活躍されている。現在、東京芸術大学講師。

今年もまた定期演奏会がやって来ました。今年こそはといつも高い音楽に情熱を燃やし続けているグリークラブのみなさん、そして四月にクラブに入って来て、毎回の練習に大きな時間をさいての一年間の初めての努力の結果を歌いあげる時を迎える一年生諸君。何事も同じですが、本ものの音楽をするための陰に隠れた一番大切な、ある意味で苦しい修練の積み重ねを行なって来たグリーンのみなさんの音楽が、今夜のステージで花を咲かせます。きっと美しく、力強く、心の音楽が歌われることと私は信じています。

私は植物が生来とても好きで、洋蘭作りに凝っている毎日です。今年も次々と美しく咲いてくれています。同じ花でもその時によってデリケートな違いがあります。美しく大きく咲く時、小さくても非常に色が濃い時、澤山咲く時、輪数が少なくても立派な時。本当に色々の変化で世話をしている者に満足感を十分に与えてくれます。造花は色も鮮やかで、一見美しく見えますが、ほんの表面だけの華やかさで、中から湧き出て来る動的な美しさは全くありません。生きた本もの花を咲かせるには日頃の心の行き届いた世話が大切であり、その世話が決して苦しい労働ではないのです。その一回一回の世話が開花の時と同じよこびなのです。

なまの演奏も全く同じことがいえます。いつもの一回一回の練習の時が本番の時と同じ「音楽をする心」でなければなりません。本ものを歌うためのグリーンのみなさんの練習は決して単なる無意味な苦しい労働に終わってはならないのです。こと音楽に於てはそれが何よりも大切な貴いことなのです。何年間か素晴らしい仕事をして来た上級生と共に同志社グリークラブをより高いものにする様、今夜の定期演奏会を心から歌って下さる様、一年生の諸君に期待しています。グリーの皆さん、今夜も本ものを歌って下さる様祈っています。



山本 優子  
〈ピアニスト〉

同志社女子大学学芸学部音楽科（ピアノ）卒業。ピアノを吉田輝子、福本俊之の両氏に師事。現在、研鑽を積まれる一方、京都市内のいくつかの合唱団のピアニストとして活躍されている。

今回の定期より「山本優子」で登場します。今後共、どうぞ宜しくお願い致します。

私が同志社グリーンとお付き合いする様になって何度か演奏旅行に同行しましたが、昨年の中国演奏旅行は非常に印象深いものでした。今でも胸の裏に中国各地で出会った人々の顔がしっかりと焼きついています。上海空港に着いた時から北京空港を飛び立つまでの15日間私達はいつも暖かい笑顔に包まれ、ベストコンディションで演奏会に臨める様に細かい所にまで心を配って下さいました。途中で体調を崩し、心細くなっていた時、通訳の楊(ヤン)さんや他の中国の方々笑顔に幾度励まされた事でしょう。“音楽は国境を越える”とよく言われますが、今回の演奏旅行で身をもってそれを体験できました。北京での最後の演奏会で、グリーンが中国の曲を歌い始めると次から次と観客が立ち上がり大合唱になりました。あの時の身体中が熱くなる感動は生涯忘れられないでしょう。

この様に素晴らしい経験をしてきたグリーンのみなさんの今宵の演奏は、きっとひと味違ったものになっている……と私は確信しています。



山本 篤子  
〈ピアニスト〉

昭和53年相愛女子大学音楽部器楽科ピアノ専攻卒業。武田邦夫、井口基成、志賀宗三郎の諸氏に師事。大学在学中より現在まで甲南女子高校コーラス部をはじめ、関西学院グリークラブ、住友生命混声合唱団、梅花女子大学合唱団等数多くの伴奏をつとめる。

昨夏、スイスで開かれた「第7回ヨーロッパカンタータ」には、甲南女子高校コーラス部の伴奏者として参加。現在、女声合唱団セシリア専属ピアニスト。

第75回同志社グリークラブ定期演奏会おめでとうございます。昨年の10月頃、突然富岡先生より、御依頼を受け、とまどいながらも今日の日を楽しみにして参りました。私とグリーンの方との出会いは、三年前、関西六連の合同演奏会だったと思われませんが、あの時ステージを共にした方達は殆ど卒業され、やはり今回皆さんとは初対面という気がします。

東西四連で、同関で、関西六連で、いつも客席からグリーンの方達の重厚なハーモニーを聴かせて頂いておりました私にとりまして、今宵、皆様と御一緒ができますことは、大変な喜びでございます。定期演奏会も75回を迎えられ、昨年は中国演奏旅行もされたとか……。今後もより一層すばらしい演奏活動をされますよう、心よりお祈りしています。



# 新年会パック

- A賞●3泊4日沖縄旅行(昭和55年3月1日以降5月末日迄) 3名様
- B賞●アートパネルクロック……………10名様
- C賞●祇園ホテルディナー券……………15名様

- カラオケ装置、無料サービス
- サントリーオールド1本進呈(30名様以上)

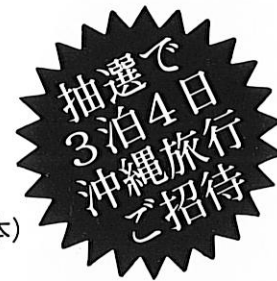
※お飲物はどのコースにもお1人様につきビール(大1本)、日本酒(180ml1本)ジュース(2本)のいずれかがついています。

※いずれの特典も20名様以上のご予約です。

◆期 間/昭和55年2月末日まで。

¥4,500コース(税・サ込)

¥5,000コース(税・サ込)



「京のこころにふれる」  
**京都 祇園ホテル**

京都・祇園石段下 電話(075)551-2111代

☎お問い合わせ・ご予約—————内線107・108(宴会係)

Night Lounge

# Harmony

若者達の Lounge ハーモニー

京都市中京区西木屋町蛸薬師上ル  
(京都ロイヤルビル7F)

TEL (075) 221-3023 〒604



中国との真の出会いを求めて…

一般旅行業 第436号

中国旅行のご相談・お問合せ **新日本国際株式会社**

大阪市東区備後町5-15 東洋ビル5F

TEL. 06(201)5457

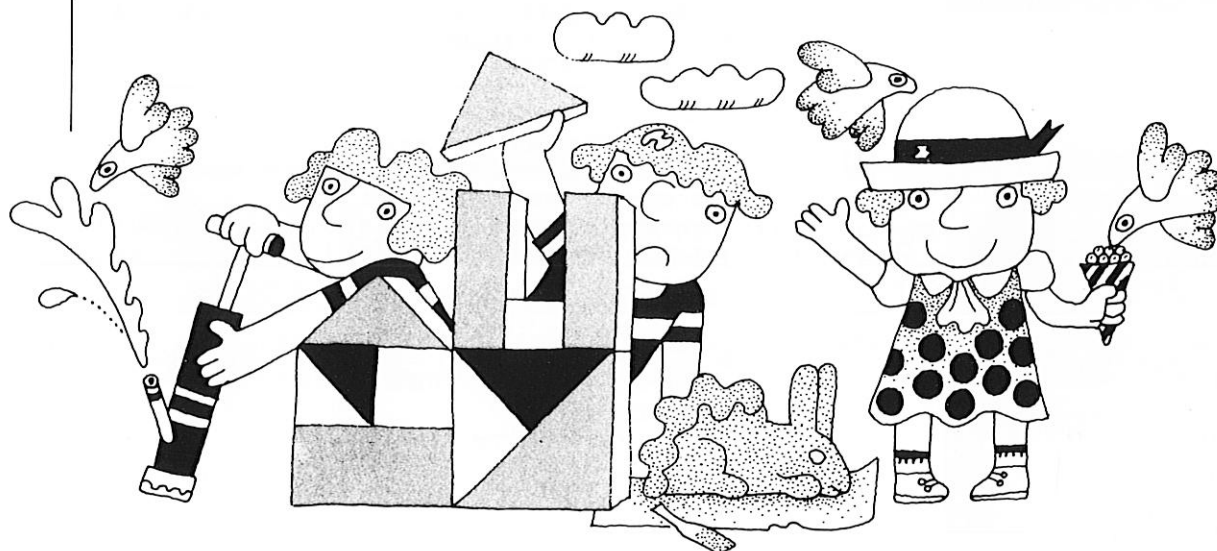
東京都中央区日本橋兜町2-36兜町第3ビル

TEL. 03(669)4021

TEL 075 934 0088  
向日寺戸瓜生16・1

**育愛学園**  
●幼児科 ●音楽科

あおぞらに  
むかっ  
そだつてゆく  
ちいさなあいを  
たいせつにしたい









鍋料理・会席  
各種折詰弁当

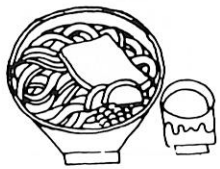
# すきよし

京都市上京区寺町今出川上ル  
電話 231-5121・5122

京の都に本場さぬきの味を……

釜うどん(うどんすき) 1人前 1700円

◎かま天うどん 600円



うどんすき

- たき込ご飯ときつねうどん 450円
- たき込ご飯と天ぷらうどん 600円
- きつね 280円 ○釜天うどん 600円
- なべやきうどん 600円～750円
- その他のうどん 250円～



手打うどん (10名様位までのうどんすき)  
予約うけたまわります

# さぬき

四条河原町  
セブンエイト  
食堂街

四条河原町阪急百貨店  
7F 食堂街  
TEL 075 (255) 3534

# 十心園家

祇園花見小路

◎クラス会・立食パーティー ¥1,800円より承ります。

お食事処

政府登録国際観光旅館

## 平安

(771) 6113

## 平安閣

京都・岡崎平安神宮東  
(771) 6111

ステージの出来映えを変えるコート

本日のステージコート  
作成の店

## 司屋株式会社

大阪マーチャンダイズマート11階  
TEL 06 (943) 3100

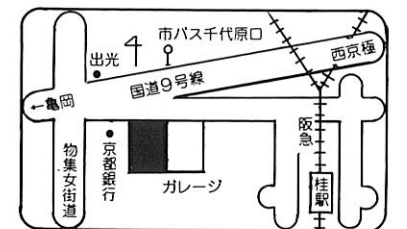
新年あけましておめでとうございます。

楽器・楽譜のご用命は

株式会社 **池本楽器** へ

〒615 京都市西京区桂千代原町55  
ヤマハ、カワイ、アトラス、ハモンド  
ディアパソン、ペトロフ他

075(391) 2111(代)





## パート紹介

### TOP TENOR



皆様、御覧下さい。ステージの下手に位置し顔面これ口といった様相で一心不乱に歌う男達を。その名をトップテノール。音程が悪い、リズムが悪いと言われ、ベースの冷たいまなざしを、バリトンの怒りのまなざしを、セカンドの同情のまなざしを受けても、声帯の伸びきらなかった未熟児とバカにされても、グッと耐え忍び一生懸命歌うその姿は雄々しく哀れでもときには凜凜しい。なんでこんなしんどいパートになったんだろうと一回生、もう慣れたわいと二回生、なんの俺のはったりが見破れるものと三回生、そんな下級生達を暖かく見守る貫録十分の四回生、いろいろな人がいても、歌に込める熱いハートは同じです。そして彼らは知っています。トップがグリー顔であることを、その輝かしい美声が、そのダイナミックな響きが男声合唱の魅力の一つであることを。今宵の演奏会、彼らはその熱いハートを美声に託してあなたの心まで届けようと一心不乱なのです。

### SECOND TENOR



さて、今度は、同志社グリーの中でも、ひととき輝くセカンドテナーの面々を御紹介いたしましょう。「ダレ犬」T、「長老」T、「ハンガー」K、「フランキー」I、「酒乱」M、「馬之助」U、以上が、ふてぶてしいが、何とまたよらない一回生。つづきましては、「首締め」Iに始まる問題児ぞろいの二回生。「ジュリー狂い」のY、そしてなぜか、おかしいなアと思いがら…「バリトン」のHがまざっていたりなんかしちゃってもう。いよいよ悩み多きは、三回生。「恍惚の人」のNさん、その他、「パチプロの荒稼ぎも今は昔…トホホツ」のAさん、「中国のマダムキラー」のSさん、「〇〇で二万円」のKさん。このようなどうしようもない連中を指導し、よくぞ耐え抜いていらっしやった四回生のNさん、耐えきれなかったということその全身からにじみ出る哀愁で証明していらっしやるKさん。まだまだ先が思いやられちゃうなア。ポカアもう知り～らない。

西川 芳秀 (四回生) 幸せってたくさんはいらないよな。たくさんあると、幸せを感じなくなるし、不幸が来た時怖いもんな。だから小さな幸せを大切にしたい……。  
音羽 正利 (四回生) まあ、フケ。きのうシャンブーしたばかりなのに!!  
米津 吉和 (四回生) 長いような短いような四年間だったけど、中国へも行ったし、「ラ・マンチャの男」も歌えたり、言うことなし。これからは、世界へ翔くYKK!  
荒井 宏之 (三回生) 大久保先生、何でカラオケ・演歌を馬鹿にするんですか!?  
出水 淑郎 (三回生) はよ書かなおいていけるウ~~~~  
池尻 隆弘 (三回生) 細かい点に絶えず注意し、それを非情ではあるが、どこまでも貴かなければよい合唱は生まれません。と人はいうが?  
小林 志伸 (三回生) しのぶちゃん21才も、Topのアイドルになっては2年。今や「King of Top」鈴木なんかに負けへんわい! 聞いているHIPPOちゃん!  
中津 好雄 (三回生) 改正曰く「中津は、誠実美男、知的、料理上手、スポーツ万能にして言うことなし。猫との同棲生活には、あきれる。早く彼女つくれ。」  
鈴木 恒一 (三回生) ノーブルなやさしいパートリーダーです。「小林なんかに負けへんわい。」  
木谷 誠 (二回生) 今宵の演奏会、僕たちの音楽があなたの心までといたら……

宮島 寿 (二回生) あなたの目が悪ければ全身も暗いだろう。だから、もしあなたの内なる光が暗ければ、その暗さはどんなであろう。  
小野 誉文 (二回生) 昨年の定演は雪が降りました。今日はどうでしょうね。あなたの耳にきくと僕の声が御届けします。  
畠中 達哉 (一回生) どうして音楽の苦手な僕が、グリーに入部したのかなあ? 理由は分からないけれど、とにかく頑張っています。  
加古 立史 (一回生) 「ヴェニスに死す」アンドレセン、「家族の肖像」ヘルムート、「風と木の詩」ジルベール。この道歩んで20年。  
小室 政志 (一回生) 小林さん何かおこって下さいよ。ほんとにトップの先輩はケチなんだから。  
栗原 毅 (一回生) こんな忙しいクラブによく入ったもんや。今だにノドがつぶれんとこみると、四年間続けられそうやな。  
楠 敏也 (一回生) 自分で言うのも何ですが、僕は物です。悪しからず。  
篠原 宏一 (一回生) 去年は実にしんどい年であった。今年はこのステージを足がかりに、絶対幸福になってやる!

この一言とは、僕は何のために大学へ入ったのだろう。  
松井 謙之 (一回生) 私の音楽性を今宵のステージに総てぶつけます。セカンドのカウンター・トランペット・テナー。  
田中 哲夫 (一回生) セカンドの音はずしと言われながらも、めげることなく毎日ピアノ片手に、ピーピー。がんばるべ〜。  
土佐 易弘 (一回生) もし同志社に入っていなかったら今頃はもうどうしているだろうか。  
上田 慎一 (一回生) “バリトン”の声をよそに今頑張っているセカンドテナー。チケット買ってくれた人、これからもヨロシク!

毎年顔ぶれかわる学生合唱団ではあるが、合唱団そのものの体質がかわらないのと同じように、わがベースパートもここ数年その性質はそれほど変わったとはいえない。クラブの中でも最も個性的な芸人を生み出しにくいパートである(声の面ではかなり個性的な者が集まっていますが)。何が行動を起こすにしても、じっくり考えて、みこしの重たいのがその特長ではないだろうか(絶え間なく下がっていくその声と同様)。  
昨夏中国演奏旅行では、高声中心のかの地で特異のまなざしで見つめられはしたものの、本日はホームグラウンド京都で耳の肥えた皆様を前に思う存分、espressivoしたいと思います。

### BARITON



男声合唱において現在存在する4パートは不可欠なものであり、植物にとえれば、Topは花、Bassは茎、Bariton、Secondは葉である。花が萎れ茎が折れていたら見るに耐えない。花は美しいほど、茎は立派なほどすばらしく、人の目を引く。それに比べ葉は、虫食っていたら話にならないが、立派に生えていても、当然でそこに人の目を向けさせることは難しい。それだけ地味なパートなのである。  
私の学年におけるパート分けは悲惨なものだった。やや声の出るものはTopとBassに取られ、その結果、BaritonとSecondには一般的に言う“クズ”ばかり集まった。Baritonにおいては“クズ箱”のようだった。しかしそのクズが今や技術的にもマネージ的にもクラブの中核を成すようになってしまった。  
鶏の鳴き声しか出せなかった私たちが自慢できる声で歌えるようになった。そして他の3パートにはない繊細な音楽感覚を持つようなパートになった。  
“クズ”から船出した私たちが今、こうして成長してステージに立っているのは、同志社グリーに伝統が生きているのと同様に、同志社グリー Bariton に生きている「栄光」という名の伝統がこうさせたのではないのか。

### BASS



千代沢 啓一 (四回生) 51年グリー学部低声科入学。53年指揮科転科。富岡ゼミ所属。テキスト福永陽一郎著「演奏の時代」。卒論テーマ「同志社グリーその異様なハーモニーの源泉」。(私の真実の学歴)  
松田 俊之 (四回生) グリーを去る日を夢見ながら生きてきた四年間。私の辞書に「青春」の文字はない。  
中島 修二 (四回生) グリーばんざい! 卒業ばんざい! 就職ばんざい! 日本ケミファばんざい! 中島修二ばんざい……かな〜?  
改正 将夫 (三回生) 中津曰く「もう改正とのメッセージ交換はやめた。今年は新しいネタで迫るソ!」  
紀伊 基雄 (三回生) どういう訳か、Bassで登場します。あのBaritonのアマ〜イ雰囲気から、Bassのケフツイ練習へ。今宵、小生に疲れはないでしょうか。  
増田 佳昭 (三回生) I am I, Don Quixote of Doshisha Glee.  
南 正晃 (三回生) 年月の過ぎ去るのははやくけど、その流れに押し流されるようでは。ああ、おれももう20代、たとえドジでも年はとるのですね。  
岡崎 康高 (三回生) 謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中はお世話になりました。本年もよろしくお願ひします。1980年1月(年賀状出さなかったもん、ゴメン!!これがかんべんして下さい。)  
小野田 武 (三回生) 酔いも甘いも知った演奏会。にぎやかにやるほど、1人で迎える次の朝は寂しい。  
大下 信雄 (三回生) いったいおまえ

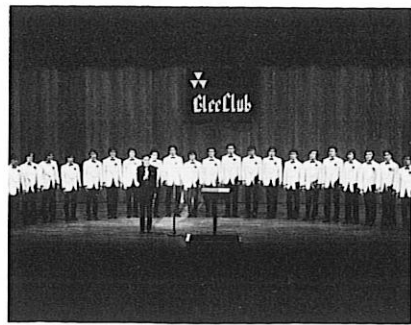
## パート紹介

梶浦 義人 (四回生) 4年間で男の世界のよろこびを、知りつくしてしまった私です。  
西野 章彦 (四回生) あけましておめでとう。これからよろしく。今宵の演奏会をききにきてくれた人どうもありがとう。フェアウェルでまた。  
山下 秀幸 (四回生) グリーとともに泣いて笑った四年間。俺のすべてだった。ありがとうグリークラブ。(いい友達、トロ〜ジャン。——四階メンズフロア)  
赤井 文三 (三回生) 婦人靴を買う時は、上質の皮で足にびたたりくる物を、そしてプライスカードの裏にA・Bの印のあるものを買きましょう。高島屋1階婦人靴売場(株)赤井文商事  
福田 規秀 (三回生) ゆうべすてた悲しみにつまらぬよう、ただ前を向いて一心に走る私。でもゴールはどこなんだろう? あなたのうでのなか、それとも……どこでもいい。はやくやすみたい。  
今村 幸彦 (三回生) 愛とは信頼と自己犠牲だと悟った時、僕は愛というものを知り、そして挫折を味わった……。  
落合 均 (三回生) 僕のファンクラブ「星の王子様を囲む会」が結成されました。只今、クラブ員を募集しております。連絡はグリークラブBoxまで。  
小野 英一 (三回生) ちいさなやさしい群よ。みんなひとつひとつの貌よ。さようなら。  
多々 清爾 (三回生) 私は、私でありたい。  
渡辺 修 (三回生) 僕は、ふとしたことから、「グリーのポルオ」という名誉称号を戴きました。はて?  
芦田 直幸 (二回生) 僕とともに万里

の長城を歩いてくれる女の子はいませんか? もう一度中国へ行きたいなあ。  
北尾 俊明 (二回生) おおっ! さむう! このメッセージを書くのにも骨が折れる。……そこの人! 部員の顔ばかり見えないで演奏も聴いて下さい! ……分裂気味かな?  
大北 稔 (二回生) 日曜日、わずれられたこのみのようにひっそりと、ドン・キホーテは、ひとりぼっちの祈り、まよ、あわれみたまえ。  
新井 哲彦 (一回生) 私が最初に口にしたい関西弁です。「ああ、しんど!!」  
小田垣正美 (一回生) 僕のサインを必要とされる方、フロントまで!!  
佐藤 隆弘 (一回生) みなさん!! 差し入れはお済みになりましたか? いつでも受け入れる体制をとっております。  
高井 啓行 (一回生) 中学時代、音楽の先生に強引?に合唱部に引っぱり込まれたのがもとで、大学まで歌と付き合うことに……。  
武田 祥和 (一回生) 私のグリーの原動力は未熟であること。ただひたすら一生懸命、歌うのみ。古都の一夜をすばらしいものに!

は、何がおもしろくてこんなクラブに入っているのや? 女の子はいないし、授業も出られないことが多い、自分の時間も持てないじゃないか。私は今宵のステージであなたのこのような疑問に答えてみせます。  
笹田 泰昭 (三回生) 双子座生まれでO型の私。誰がスケベと呼んだのか。人生全うに生きてる私なのに。フン、フン、フン、ミッキー!  
筒井 隆文 (二回生) ぼくはベースのソリストです!(ねえタクさん!) 今年美しいPPを作り上げるために日夜ガンバッテます! きつとぼくの美しい歌声(PP)であなたの心を感動させてみせます!(燃える男より)  
北島 博史 (一回生) 遠距離通学者のみなさん毎日御苦労さまです。7時50分練習場発8時自宅着の近距離通学者より。  
前田 洋孝 (一回生) 前田は何ステージ出る? College Song だけ! アイツはBass? いや、Noiseさ!  
佐藤 敏 (一回生) 僕の下宿にはゴキブリが出ます。ゴキブリは焼いても死なないんですね。高沢みただ。  
里内 知巳 (一回生) ホールもくずれんばかりの拍手、かっさい。いやア、ボクのファンはこんなにたくさんいたんやなあ。  
高沢 隆司 (一回生) 時のすぎゆくはやさ肌で感じる時、我々の歌声を思い出してごらん下さい。バリトンの佐藤へ→ほどほどにせよ!  
薬師神重司 (一回生) プレゼントも花束もいりません。券を買ってもらえなければ反グリー(半人前&金欠)だ。





フェアウェルコンサート



関西六連運動会



京都合唱祭



同志社・関学交歓演奏会



東西四大学合唱演奏会

◆フェアウェルコンサート

正確には、「第〇回卒業生のためのフェアウェルコンサート」と言います。毎年2月中旬、小さなホールで、卒業する四回生が、グリーンであった四年間に自分たちのチケットを買っていただいたお客様を招待して、自らの晴れ姿をみてもらい、こんなにりっぱになりましたよ、本当に長い間ありがとうございましたとお礼するコンサートです。と共に、グリークラブ卒部式でもあるのです。思い出のステージと称して卒業生が過去四年間に歌ったいろんな曲の中からまず全学年で、次に四、三、二回生で、そして四、三回生で、最後に四回生だけというふうに順次学年ごとにステージを降りていきます。四回生だけのステージでマイウェイなんか歌われるとばくなんかもうあかんわ、涙、涙です。で、その後、式典が始まり、ほたるの光の合唱の中、卒業生が一人ずつ、卒部記念ペナントと花一輪をうけとりステージから客席へと降りていくのです。

◆春合宿

春合宿は毎年3月末、琵琶湖近辺で5~6日間行なわれる。新2、3、4回生により、主に同関、四連へ向けての出発である。

合宿には余興がつきものであり、昨年のメインイベントは、第1回合唱コンクールであった。抽選で各10人余りの4チームに分かれ、課題曲「雨」と自由曲(中には創作曲?)に挑戦したのである。福永杯、富岡杯、大久保杯が設けられ、緊張の大会であった。厳正なる審査により、優勝チームを決定し、福永杯として、合宿所の売店で買った「かっぱえびせん」が贈られたのであった。

◆オリエンテーション

同志社大学には、5つの合唱団があります。3つが混声で2つが男声です。したがってどこの団でも男性を大変必要とするのです。以下は、グリークラブにおける新入生勧誘の様子は、

某混声の女性「ねえ坊や、うちの合唱団に入ったらかわいくなってあげるわよ。」  
「ぼ、ぼくいいです。」と逃げだすうぶな1年生をつかまえて、  
「君、1年生かい?」(しらじらしく)  
「はい。」  
「グリークラブって知ってるかい?」  
「はい。あの、テレビやラジオで歌っている合唱団ですか?」  
「やあ、知ってるの。光栄だなあ。」  
「僕あの白いスーツ好きなんです。」  
「どう、入ってみる気ない?」

「でも僕なんかじゃとても無理じゃないですか。」

「いや、僕も初めてさそわれた時は迷ったけれど、やっぱりやっていたよ。どう、お茶でも飲みながらクラブの話聞かない?」  
(嗚呼、かわいそうに。これでこいつも4年間女性と話もできない青春を送るのか。仲間がふえたわい。)

「はい。」(うれしそうに)

混声合唱の方がよかったと思うようになるのは、もうクラブをやめられないと思わされるころからです。

◆関西六大学合唱連盟運動会

各大学にそれぞれ女子大の応援団がつくとあって、がぜんはりきるグリーンメン。今回は神戸女学院コーラス部がお揃いのトレーナーでしかも手弁当持参の応援とあって、感謝感激。そのせいか前半頑張っ、首位で折り返した同志社だったが、後半、高得点種目の障害物競走で、指揮者、幹事長ともジューズ1位と大福もちがネックとなり、ともに堂々の第6位。これが致命傷となり、総合4位に転落したのだった。次回は指揮者I氏、幹事長T氏とも胃袋に自信があるので、がんばりませー。

◆東西四大学合唱演奏会

東西四連は、日本におけるアマチュア合唱界最大のイベントの一つに数えられる演奏会であり、互いに強いライバル意識をもった各団の個性が、激しくぶつかりあう場でもあります。我団も、当然のことながら、定演に優るとも劣らないエネルギーを結集し、本番のぞみました。

永年の間、四連を振っていただいた福永陽一郎先生が、早稲田を振られ、指揮を富岡健先生をお願いすることになったことは、我団にとって一つの転換期を意味するものであり、個々の部員が、新鮮な気持ちでステージに立つことができました。

新宿文化における演奏では、トップのパートリーダーとソリストを欠いての演奏ということで、若干の不安がありましたが、同関において好評を博した「むぐらの物語」で、早慶、関学に優るとも劣らない演奏を残すことができ、東京に「同志社グリー」の名を誇示してまいりました。

◆夏合宿

夏合宿は9月上旬に野尻湖畔で行なわれ、1回生も加えての、定期演奏会に向けての出発である。とはいえ5泊6日、1日約10時間

の練習はしんどい。特に1回生にとっては、合宿最後の夜、4回生との間で行なわれる、あの世にも恐ろしい「洗礼式」が待ち受けており、不安な日々を送るのである。そして4回生はその準備のため、夜な夜な密談を繰り返すのである。

また今年はパート対抗のボートレースも行なわれた。野尻湖に浮かぶ弁天島への往復レース、題して「大弁天島ボートレース」。当初体力で勝るバリトンが圧倒的有利と予想されたが、結果はトップとベースが優勝を分けたのである。

合宿のフィナーレは演芸大会で飾られる。洗礼式を終えた後、2回生による珍芸、4回生の体験談など、夜を徹してくり上げられるのである。

◆お座敷

正式ステージ以外で、ある団体、学校などの要請で持つステージを、グリーンメンは通称「お座敷」と呼んでいます。

今年度は、テレビ、ラジオ、中学校の鑑賞会、結婚式等々例年に比べて多くのお座敷がありました。その中で最も印象深いのは昨年9月に行なわれたシボレー社のパーティーです。シボレーとはアメリカの大衆向け自動車メーカーのことであり、アメリカ各地の幹部がツアーで日本に来たのです。通算5回のステージで、1回につき300人、計1500人ものアメリカ人を前に演奏したのです。彼らの演奏を聞くマナーの良さには勉強させられました。真剣に耳を傾けてくれ、終わると同時にわれんばかりの拍手、席を立ってのブラボーコール。正式演奏会にも劣らず緊張し、感動したのでした。またマネージャーN君のワンパターンスピーチも雰囲気盛り上げたのでした。「Chevrolet is the best!」

◆合ハイ

合ハイ幹事「明日、A女子大と合ハイやりますので遅れないようにして下さい。」

部員 A「何が合ハイや! わしには勉強があるんじゃない勉強が。」

翌々日部員B「なんでいきひんかったんや。きのう」

A「どうせおもしろなかったやろ」

B「アホかいな、女子大の子が昼メシ作ってくれて、うまかったでえ〜」

A「なんやて、昼メシやて…」

B「ゲームで手を握ってな、スキンシップでよかったでえ〜」

A「なんやて、手握ったやて…」

B「二次会でいっしょにのんだ酒、あんなうまい酒は初めてやなあ」

A「なんやて、いっしょに飲んだやて…」

B「話はずんで、遅なったんで帰り送ってあげたんやて」

A「なんやて、送ってあげたやて……。わ、わしには勉強があるんじゃない、勉強が!!」

ちなみに、この合ハイで2つのカップルが誕生したのです。お幸せに……。

◆オーディション

私達は、演奏会前に各パート一人づつのカルテットによってオーディションを行なう。そのために毎回ステージカットを食らう人間が続出しているが、その数は、技術系の人徳により多少異なっているようである。合宿以来4ヶ月にわたる残酷かつ無残な練習を耐え忍んできた私が、あと一歩で晴れのステージに立つべく、数少ない女性関係を厳正審査し、チケットをタダであげ、あてにできない差入れの依頼をおえた時、その日は訪れた。前夜、全く譜読みの形跡のない楽譜と音程の狂ったピアノを手にした私は、事の重大さにボウ然としつつも、祇園にくだしていった。男はあきらめが肝心である。当日私は、平静を装い満面に微笑を浮かべて入室し、学指揮の労をねぎらい握手を交した。……30分後、背後にバ声と冷笑を浴びているような錯覚に陥りながら室を出た私は、一つの仕事を成し遂げた充実感に満たされ、定演でソロをしている自分の姿を思い描いていた。

◆全同志社メサイア演奏会

全同志社メサイアは、1965年12月復活メサイアとして第1回演奏会を行なって以来、昨年12月24日で15回目を迎えました。この演奏会は同志社交響楽団、同志社女子大学音楽科、同志社グリークラブ、並びに一般公募によって行なわれます。それぞれ別の演奏活動をしている3団体が一堂に集まって1つの演奏会を行なうところに大きな意義があります。

指揮者には、ロベルト・ブリューゲン、福永陽一郎、秋山和慶、山田一雄、朝比奈隆ら一流の先生方をお迎えしており、昨年は遠山信二先生指揮で演奏されました。演奏会の終幕を飾る「きよしの夜」のキャンドルライトに浮かぶステージは、印象深いものであります。

このように、京都において全同志社メサイアは、名実ともに年中行事の一つとして好評を博し続けています。



同志社・立教交歓演奏会



夏合宿・演芸大会



合ハイ



オーディション



全同志社メサイア演奏会



この一年のあゆみ

1978年12月14日	同志社グリーンクラブ・クローバークラブジョイントコンサート	大阪毎日ホール
16日	中国学術団交流会参列	新島会館
20日	第74回定期演奏会	京都会館第1ホール
25日	第14回全同志社メサイア演奏会	京都会館第1ホール
1979年1月8日	戸塚フランス刺繍協会新年パーティー出演	新阪急ホテル
2月14日	第74回卒業生のためのフェアウェルコンサート	京都大谷ホール
3月21日	同志社大学準硬式野球部創立30周年記念式典出演	都ホテル
23日~28日	春季合宿	和邇浜青年会館
29日~30日	同志社大学卒業式参列	同志社栄光館
4月22日	梅花女子大学合唱団と合ハイ	京都府立植物園
30日	京都女子大学女声合唱団と合ハイ	京都府立植物園
5月3日	関西六大学合唱連盟運動会	服部緑地公園
13日	日中友好青年の船京都来訪歓迎会出演	京都二条城
14日	関西テレビ「奥様リビング」出演	関西テレビスタジオ
27日	第16回京都合唱祭	京都会館第1ホール
30日	第8回同志社グリーンクラブ・関西学院グリーンクラブ交歓演奏会	大阪フェスティバルホール
6月5日	朝日放送テレビ「たいむ6」録画撮り	京都鴨沂会館
13日	同志社ミュージックフェスティバル	京都会館第2ホール
20日	鈴屋創立70周年記念式典出演	大阪帝人ホール
24日	第28回東西四大学合唱演奏会	東京文化会館
25日	第28回東西四大学合唱演奏会	新宿文化センター
30日	第20回同志社グリーンクラブ・立教大学グリーンクラブ交歓演奏会	京都大谷ホール
7月4日	朝日放送ラジオ「フレッシュ9時半!キダ・タローです」出演	朝日放送スタジオ
13日	NHKテレビ「ニュースワイド640」出演	NHK京都スタジオ
14日	朝日放送テレビ「土曜の朝に」出演	朝日放送スタジオ
18日	中国演奏旅行プログラム披露会	同志社学生会館ホール
20日~	中国演奏旅行	上海・南京・西安・天津・北京
8月3日	夏季合宿	信州・野尻湖ハウス
9月4日~9日	The Reception for Chevrolet Top Performers出演	都ホテル
10日~18日	同志社大学昭和19年度卒業式参列	同志社神学館チャペル
22日	イーグルフェア第17回EC国際大会出演	京都国際会議場
23日	大阪枚方ワイズメンズクラブ加盟認証伝達式出演	大阪ロイヤルホテル
24日	中国演奏旅行帰国報告会	京大楽友会館
10月3日	高槻第二中学校招待演奏会	高槻市民会館
14日	甲南女子大学コーラス部と合ハイ	万博記念公園
20日	高槻第九中学校PTA音楽鑑賞会	高槻第九中学校
21日	京都西南ローターアクト・チャーターナイト出演	ホリディン京都
11月3日	第6回関西六大学合唱演奏会	大阪フェスティバルホール
11日	平安女学院短期大学女声合唱団と合ハイ	京都府立植物園
25日	同志社創立104周年記念リユニオン出演	京都ホテル
27日	同志社EVE・ランダムステージ出演	同志社明徳館前
12月19日	同志社女学校父母の会クリスマスの集い出演	京都ホテル
24日	第15回全同志社メサイア演奏会	京都会館第1ホール
25日	四日市都ホテルクリスマス晩餐会出演	四日市都ホテル
1980年1月8日	第75回定期演奏会	京都会館第1ホール
2月9日	第75回卒業生のためのフェアウェルコンサート	京都教育文化センター

メンバー紹介

名誉顧問	片桐 哲	幹事長	多々 清爾	ステージ	笹田 泰昭
顧問	遠藤 彰	内政	大下 信雄	サブ	木谷 誠
技術顧問	福永陽一郎	外政	中田 英之	文連常任	東原 幸生
指揮者	富岡 健		小野 英一	メサイア実行	増田 佳昭
アドバイザー	大久保昭男		渡辺 修		小野 誉文
		サブ	中津 好雄		吉田 宜生
			宮島 寿	学生指揮者	千代沢修一
			大北 稔	副指揮者	池尻 隆弘
会計	福田 規秀			パートリーダー	
サブ	芦田 直幸			Top	鈴木 恒一
演奏旅行	荒井 宏之			Second	楠木 潔
サブ	井ノ口光章			Bariton	落合 均
資料OB担当	改正 将夫			Bass	小野田 武

Top Tenor

西川 芳秀 (経Ⅰ・4)	兵庫・芦屋 高
音羽 正利 (文・社会・4)	秋田・秋田市立 高
米津 吉和 (商・4)	兵庫・姫路 高
荒井 宏之 (法・法律・3)	広島・崇徳 高
出水 淑郎 (法・法律・3)	大阪・四条畷 高
池尻 隆弘 (商・3)	大阪・同志社香里 高
小林 志伸 (工・工化・3)	島根・三刀屋 高
中津 好雄 (経・3)	長野・飯田 高
鈴木 恒一 (法・法律・3)	京都・洛東 高
木谷 誠 (神・2)	宮崎・延岡 西 高
宮島 寿 (商・2)	長野・須坂 高
小野 誉文 (経・2)	岡山・芳泉 高
畠中 達哉 (法・法律・1)	大阪・上宮 高
加古 立史 (文・文化・1)	兵庫・宝塚 高
小室 政志 (文・文化・1)	茨城・下館 第一 高
栗原 毅 (商・1)	大阪・天王寺 高
楠 敏也 (法・法律・1)	京都・同志社 高
篠原 宏一 (法・法律・1)	長野・野沢 北 高

Second Tenor

河相 誠之 (法・法律・4)	広島・盈進 高
中野 宏 (経・4)	大分・中津 北 高
安藤 善朗 (法・法律・3)	岐阜・岐阜 北 高
楠木 潔 (商・3)	大阪・同志社香里 高
中田 英之 (経・3)	香川・高松 商 高
坂本 努 (文・文化・3)	栃木・宇都宮 高
東原 幸生 (商・2)	北海道・函館ラ・サール 高
井ノ口光章 (法・法律・2)	福岡・門司 高
吉田 宜生 (法・法律・2)	大阪・同志社香里 高
池田 英生 (経・1)	京都・堀川 高
木村 計司 (文・文化・1)	京都・桂 高
松井 謙之 (法・法律・1)	大阪・清風 高
田中 哲夫 (文・文化・1)	新潟・三条 高
土佐 易弘 (経・1)	大阪・清風 高
上田 慎一 (工・機械・1)	大阪・鳳 高

Bariton

梶浦 義人 (文・文化・4)	京都・塔南 高
西野 章彦 (文・社会・4)	京都・同志社 高
山下 秀幸 (法・法律・4)	鳥取・米子 東 高
赤井 文三 (文・文化・3)	大阪・同志社香里 高
福田 規秀 (経・3)	愛知・滝 高
今村 幸彦 (商・3)	福岡・筑紫丘 高
落合 均 (経・3)	栃木・宇都宮 高
小野 英一 (文・社会・3)	東京・芝 高
多々 清爾 (工・工化・3)	大阪・生野 高
渡辺 修 (商・3)	岐阜・加納 高
芦田 直幸 (法・法律・2)	大阪・同志社香里 高
北尾 俊明 (経・2)	京都・同志社 高
大北 稔 (法・法律・2)	大阪・明星 高
新井 哲彦 (工・機械・1)	群馬・新島学園 高
小田垣正美 (商・1)	兵庫・生野 高
佐藤 隆弘 (経・1)	大阪・生野 高
高井 啓行 (法・法律・1)	和歌山・桐蔭 高
武田 祥和 (文・社会・1)	新潟・巻 高

Bass

千代沢修一 (経・4)	埼玉・川越 高
松田 俊之 (法・法律・4)	群馬・前橋 高
中島 修二 (文・社会・4)	滋賀・石山 高
改正 将夫 (工・機械・3)	兵庫・六甲 高
紀伊 基雄 (工・電気・3)	愛知・中村 高
増田 佳昭 (文・社会・3)	大阪・星光学院 高
南 正晃 (工・機械・3)	石川・羽咋 高
岡崎 康高 (法・法律・3)	大阪・豊中 高
小野田 武 (工・電気・3)	京都・同志社 高
大下 信雄 (経・3)	京都・同志社 高
笹田 泰昭 (経・3)	兵庫・長田 高
筒井 隆文 (経・2)	大阪・同志社香里 高
北島 博史 (工・電子・1)	京都・同志社 高
前田 洋孝 (商・1)	東京・小山台 高
佐藤 敏 (経・1)	北海道・滝川 高
里内 知巳 (文・文化・1)	滋賀・膳所 高
高沢 隆司 (文・社会・1)	大阪・桜塚 高
薬師神重司 (経・1)	愛媛・八幡浜 高

編集後記

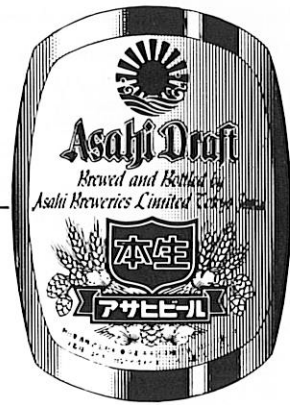
今宵は寒い中を私達の演奏会にお越し下さいましてありがとうございました。  
 今回のプログラムは、限られた紙面の中に最大級の内容を盛りこみ、私達の様々な活動を少しでも多く理解して頂くことを目標に、1ページ1ページに心をこめて作成したつもりです。何かと至らぬ点も多いかと思いますが、たとえわずかでも私達の意図を皆様に伝えることができましたら幸いです。  
 最後になりましたが、原稿を御寄稿下さいました先生方、広告主の皆様、編集にあたっていろいろと御迷惑をかけた印刷所をはじめとする関係諸兄の皆様方に厚く御礼申し上げます。  
 — 外 政 —

同志社グリーンクラブ

第75回卒業生のためのフェアウェルコンサート  
 1980年2月9日(土) 6:30PM 開演 京都教育文化センター

〈賛助出演〉  
 同志社クローバークラブ  
 ●入場無料

「生」なら、



アサヒ。

生ビールをびん詰  
**アサヒ本生**

中びんもあります。



近代日本歌曲の朝あけを告げた楽聖生誕百年記念

# 瀧廉太郎作品集

30cmLPステレオ ¥2000 TP60329

好評発売中!!

第一面

1. 花 (作詩/武島羽衣)
2. 納涼 (作詩/東くめ)
3. 月 (作詩/瀧廉太郎)
4. 雪 (作詩/中村秋香)
5. ほうほけきよ (作詩/瀧廉太郎)  
～ひばりはうたい (作詩/東くめ)
6. 鳩ぼっぼ (作詩/東くめ)  
～水あそび (作詩/瀧廉太郎) ～菊 (作詩/東くめ)
7. 雀 (作詩/佐々木信綱)
8. お正月 (作詩/東くめ)  
～雪やこんこん (作詩/東くめ)

第二面

1. 荒城の月 (作詩/土井晩翠)
2. 箱根八里 (作詩/鳥居枕)
3. 豊太閤 (作詩者不詳)
4. 散歩 (作詩/中村秋香)
5. 四季の瀧 (作詩/東くめ)
6. 荒磯 (作詩/徳川光圀)
7. 水のゆくえ (作詩者不詳)
8. 別れの歌 (作詩者不詳)

(歌) デューク・エイセス/葵ひろ子

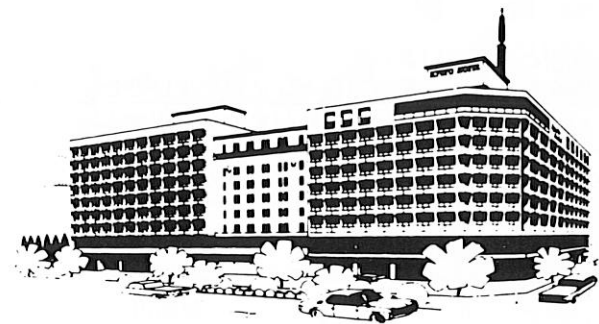


心への音楽

TOSHIBA EMI



ご宿泊・ご宴会・お食事に



## 京都ホテル

京都・河原町御池

TEL 211-5111

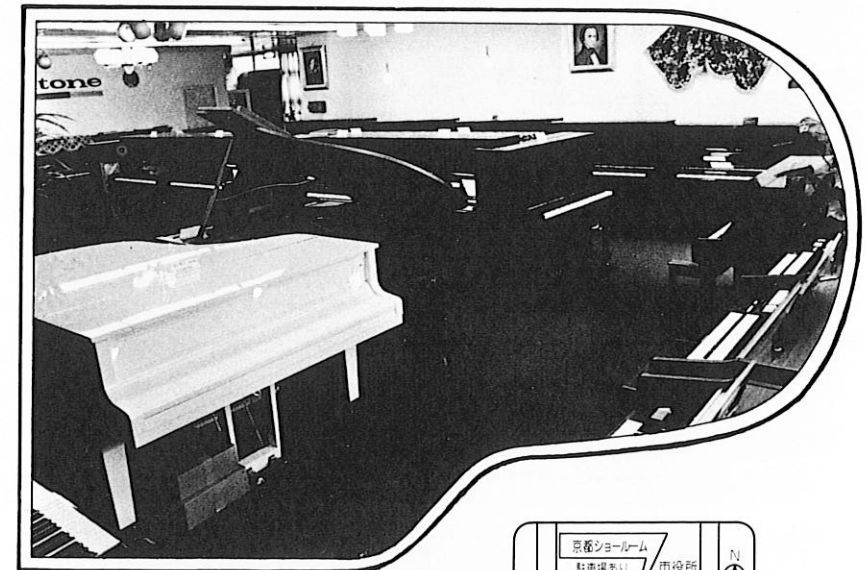
純 宝焼酎

純 宝焼酎

70Proof

宝酒造株式会社

## ピアノ 音楽の広場 オルガン 電子



新規購入から修理・調律・移動まで  
専門技術者がすべての御相談に応じます

国産・輸入各社一流メーカー品を  
大量仕入・薄利多売で大奉仕

協立楽器(株)

京都ショールーム

☎075(255)0220~0221



烏丸御池東入ル南側(京ビル1F)  
10:00AM~7:00PM 年中無休